

平成26年度

**真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会**

平成27年2月

I. 平成26年度の各機関の取り組み状況 新規



	森林	水	交流	
1. 森と湖に親しむ旬間行事 (同時開催: 「日帰り留学 (第1回)」)	森林	水	交流	1
新規 2. 平成26年度 「日帰り留学 (第2回)」	森林	水	交流	10
3. ダムツーリズム (九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー)	森林	水	交流	11
4. ダムカードの配布とダムマニアとの連携			交流	13
5. 福井豪雨10年パネル展示		水	交流	15
6. ダム湖周辺の紅葉情報提供	森林		交流	17
7. ダム湖の自然環境保全の取り組み	森林	水		19
8. 真名川ダム弾力的管理	森林	水		25
9. 微小粒子状物質 (PM2.5) の濃度 (ダム湖周辺)	森林	水		27
10. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況	森林	水	交流	28
11. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり	森林		交流	29
12. 第7回もりみずカップ少年サッカー大会			交流	32
13. カヌーを使った水辺の安全教室		水	交流	33
新規 14. 化石発掘体験	森林		交流	34
15. 越前おおの湧水文化再生計画		水		35
16. 大野市森・水保全条例	森林	水		37
17. 越前おおのエコフィールド	森林		交流	38
18. NPO法人九頭竜自然楽校	森林	水	交流	40
19. 流木の有効活用	森林		交流	41
20. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ		水	交流	42
21. ノーム自然環境教育事務所	森林	水	交流	43
II. 平成27年度の活動について				45
【参考資料】				53

水源地域活性化のための活動



1. 森と湖に親しむ旬間行事



概要

【目的】国民のみなさんが森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくこと。

【実施内容】真名川ダム見学会（平成26年7月26日（土））

九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成26年7月27日（日））

「日帰り留学」麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)会場(平成26年7月26日(土))

【主催】森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会

※赤枠は平成26年度 新規実施

【構成機関】福井森林管理署／福井県／大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／国土交通省九頭竜川ダム統合管理事務所

【関連・協賛行事】NPO法人九頭竜自然楽校カヌー教室（平成26年7月23日（土）、24日（日））
第7回もりみずカップ少年サッカー大会（平成26年6月28日（土）、29日（日））

【事前PR】県内を対象に新聞広告で事前PRを実施

日帰り留学

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン 上下流域連携

石の文鎮づくり
川の自然石を使って世界に一つだけの文鎮を作ろう！

魚つかみ
清流にそよぐ魚をすくってかわいく飾り立てたお魚の文鎮を作ろう！

丸木切りコースター作成
天然の木を切ってコースターを作ろう！

山林・里山・田園地域の自然を体験しよう！

平成26年7月26日(土)

実施場所 麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)
〒910-0240 福井県大野市大野1-1-1 TEL.0779-64-1240

参加費 無料 予約 無料

■日帰り留学 募集チラシ

福井豪雨から10年
九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

真名川ダム アーチダム 全高127.5m
7月26日(土) 10:00~16:00

- 美しい森づくりを目指して展示と森のマスクット作り(展示の森が命の森(福井県)の森を思い、心を繋いで上手に「マスクット」作りもあろう！)
- 再生可能エネルギーについて考えてみよう(再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みや環境意識を高めるためにダムで取り組む)
- 福井の森とダムについて学ぼう(パネル展)

真名川ダム見学会 (観覧料15,000円)

真名川ダム(大野市) 7月26日(土) 11:00~16:00

福井県が管理する子どもの見学会

ダムマニア
ダムを愛するマニアがダムの魅力を語る。

7月21日(月)~31日(木)は「森と湖に親しむ旬間」です。主催/森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会 九頭竜川ダム統合管理事務所、福井森林管理署、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)

九頭竜ダム ロックフィルダム 全高128m
7月27日(日) 10:00~16:00

- 高さ128m・約700段の階段にチャレンジ！体力に自信のある方は挑戦してみよう！(体力に自信のない方は階段を歩かずにダムを見よう)
- 照明車・輸送用車両の展示(災害の際で活躍する車両を見学出来る。観覧料15,000円)
- 長野発電所見学会(観覧料15,000円)
- 1日水上遊覧体験(ダム湖の安全を確保する遊覧船に体験乗船)
- 森が育む湧水文化を学ぼう(ダム湖の安全を確保する遊覧船に体験乗船)
- 長野発電所見学会(観覧料15,000円)

ダム湖に流れ着いた流木プレゼント
自然が作り出す様々な形の流木。装飾用、観賞魚の水槽にどうぞ！(※写真はイメージです、なくなり次第終了します。)

堆肥プレゼント(真名川ダム) 流木でアート工作教室(九頭竜ダム)

【お問合せ】国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 TEL.0779-66-5300(代)

■ダム見学会 新聞広告掲載 平成26年7月25日(金) 朝刊

真名川ダム見学会

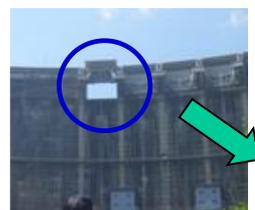
【開催日】平成26年7月26日(土)

【来場者】約210人

【参加機関】福井森林管理署 / 福井県 / 北陸電力(株) / ダムマニア / 九頭竜川ダム統合管理事務所



■真名川ダム会場



■クレストゲートの開扉



■ダムの大さを体感



■アーチ式ダムを体感



■管理用通路見学



■管理用発電設備見学



■噴水設備見学



■コンジットゲート設備見学



■紙飛行機飛ばし(水溶紙)



■ダム見学記念撮影



■流木工作教室

真名川ダム見学会



■パネル展示（福井森林管理署）
国有林の森林保全の取り組み



■パネル展示（福井県）
県が管理するダムや森林の保全



■パネル展示（北陸電力）
環境保全活用



■パネル展示
（九頭竜川ダム統合管理事務所）



■流木プレゼント



■堆肥のプレゼント



■ダムマニア～ダムの魅力を語る～

プレゼンテーション、写真の展示



■「日帰り留学」

麻那姫湖青少年旅行村
真名川ダム会場同時開催

ダムで水上巡視も
きょうから見学会
大野の4施設
大野市の真名川、九頭
竜ダムなどの見学会が
26、27の両日開かれる。
普設は入れない連絡道路
を歩いたり、ボートでダ
ム湖の水上巡視を体験で
きる。

九頭竜川ダム統合管理
事務所や県、大野市など
でつくる「森と湖に親し
む旬間行事運営連絡会」
が毎年開いている。見学
会は真名川、笹生川両ダ
ムが26日、九頭竜ダムと
長野発電所は27日で、と
もに午前10時～午後4
時。

水上巡視は九頭竜ダム
で行う。所要時間は約30
分。先着40人。真名川、
九頭竜両ダム会場では流
木のプレゼント、工作教
室もある。

問い合わせは、真名川
ダム会場☎0779
(64) 1011、笹生
川ダム会場☎0779
(64) 1335、九頭
竜ダム会場☎0779
(78) 2116、長野
発電所(電源開発)☎
0779(78) 213
1。

※赤枠は平成26年度 新規実施

■ダム見学会 新聞報道記事
福井新聞
平成26年7月26日(土)朝刊

「日帰り留学」麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)会場 (真名川ダム会場同時開催)

【開催日】平成26年7月26日(土)

【参加者】58名 大人12名 ※赤枠は平成26年度 新規実施

【開催場所】真名川ダム麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)

子供46名

【関連団体】NPO法人ドラゴンリバー交流会/福井森林管理署/大野市漁業協同組合/防災エキスパート等



《石の文鎮づくり》川の自然石を拾って、世界に一つだけの文鎮を作りました



《魚つかみ》清流に泳ぐ魚を手で捕まえて、その場で焼いて食べました。



《川の健康診断》川の生物を採取して、川の水がきれいかを調べました。



《丸太切り・コースター作成》天然の木を切ってコースターを作りました。



《青空教室》奥越豪雨(西谷水害)と真名川ダムについて学びました。



九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

【開催日】平成26年7月27日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場 約320名／長野発電所 190名

【参加機関】大野市／電源開発(株)／北陸電力／関西電力／九頭竜川ダム統合管理事務所



■九頭竜ダム会場



■九頭竜ダム会場



■長野発電所会場

■長野発電所見学会



■水上視察体験-1



■水上視察体験-2



■にぎわう受付



■模型実験の実演の様子



■堤体上見学



■災害対策車操作体験



■災害対策車展示



■地下発電所見学-1



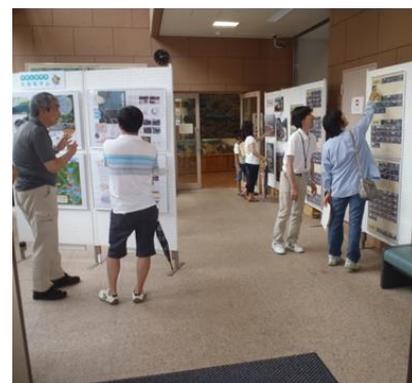
■地下発電所見学-2

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

- ・大野市により、湧水文化再生に関する取り組み及び越前美濃街道沿線自治体の観光紹介を行った。
- ・九頭竜川ダム統合管理事務所により、九頭竜ダムの概要と役割、水源地域ビジョンの概要と取り組み、平成23年9月台風12号被災における国土交通省の対応などを紹介した。
- ・この他、ダム湖に流れついた様々な形の流木を無料配布し、また地元業者さんの協力による流木を利用した工作教室も好評であった。



■パネル展示（大野市観光振興課）



■パネル展示（九頭竜川ダム統合管理事務所）



■九頭竜湖の流木プレゼント



■地元業者さんの協力による流木を利用した工作教室



■九頭竜ダム見学会記念撮影パネル



【関連行事】NPO法人九頭竜自然楽校カヌー教室



■カヌー教室 ①



■カヌー教室 ②

【協賛行事】森湖カップ(6月28・29日開催)



■事務所長の祝辞

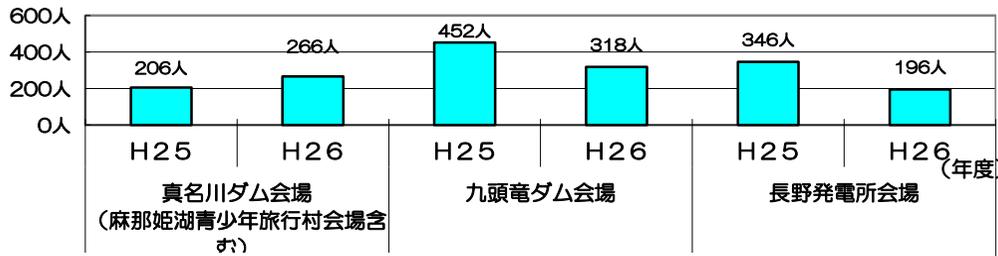


■試合の様様

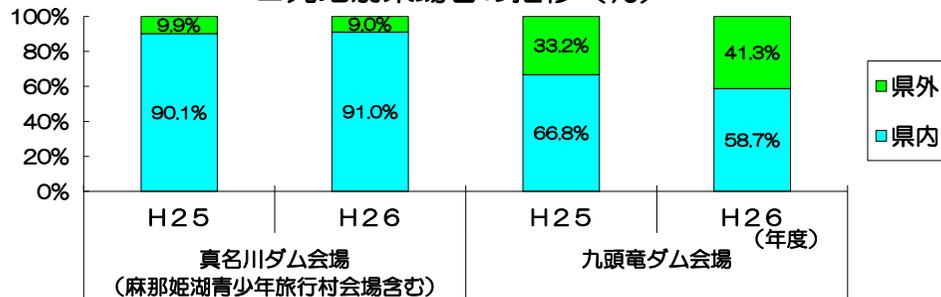
アンケート結果

旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。

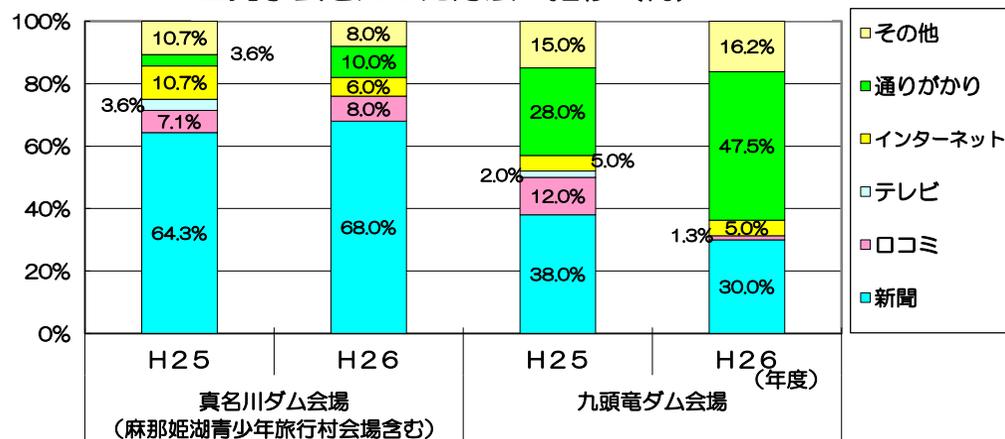
■各会場来場者数の推移（人）



■発地別来場者の推移（%）



■見学会を知った方法の推移（%）



■アンケート結果

●真名川ダム会場

(麻那姫青少年旅行村(中島公園)会場含む)

通りがかりの来場者は少なく、県内の見学者の占める割合が非常に多かった。来場者のほとんどは、新聞に行事開催の情報を入手している。今回初の取り組みとなった日帰り留学(別会場：麻那姫湖青少年旅行村(中島公園))開催の影響もあり、来場者数は昨年比の約30%増となった。

●九頭竜ダム会場・長野発電所会場

県境の主要道沿いという立地的な条件もあり、通りがかりでの見学者の割合が多い。立地的な条件が、広く一般の方にダムを知っていただく効果をあげている。昨年度実施された大野市主催による団体ツアーが無かったことが、今年度の来場者数が、九頭竜ダム会場で昨年比の約30%減、長野発電所においても昨年比の約40%減となる要因となったと考えられる。

■総括

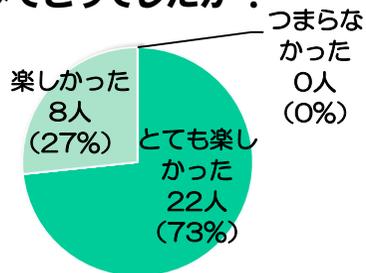
アンケートの感想などからリピート率が高いことが判り、「森と湖の旬間イベント」として、ある程度定着した、森に親しめるイベントになっていることが想定される。また、豪雨災害の紹介やダムの役割、重要性を発信する事により、この催しの来場者が防災意識の向上並びに再認識されていると考えられる。

今後も更に、水源地域ビジョン団体との連携を強化し、運営上の課題を解消しながら、より多くの方に森林やダム、河川等の重要性について関心を高め、理解を深めていただく取り組みを継続して実施したい。

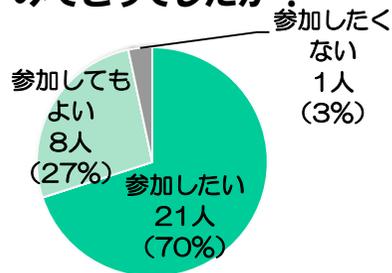
日帰り留学参加者へのアンケート結果

	子供	保護者	合計
当日参加者数	46名	12名	58名
アンケート回答数	30名	—	30名

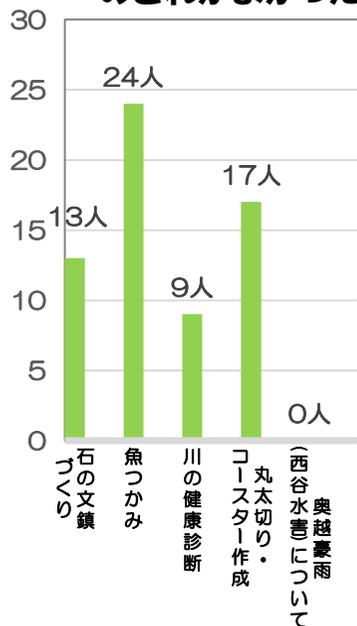
日帰り留学に参加してみteどうでしたか？



日帰り留学に参加してみteどうでしたか？



とても楽しかった または 楽しかった人は次のどれがよかったですか？



複数回答有り

1位	魚つかみ
2位	丸太切り・コースター作成
3位	石の文鎖づくり

■総括

●自然体験について

自然と触れ合う機会の少なくなった昨今において、今回の日帰り留学でのさまざまな自然体験は、参加した子供達にとって普段の生活では味わうことの出来ない貴重な体験となり、楽しい思い出となった。また機会があれば参加したい、もっと色々な自然体験をしてみたいとの意見が多くあった。

●上下流地域間の交流について

他校の子供達との交流は新鮮であったようで、もっと交流したい、また、違う学校の子供達とも交流したいという意見が多数あった。

●奥越豪雨（西谷水害）について

今回日帰り留学実施場所の麻那姫湖青少年旅行村（中島公園）が真名川ダム建設の契機となった西谷水害（奥越豪雨）が起こった場所ということもあり、沢山の子供達から、当時の被害の大きさや水害の恐ろしさについての話が印象に残り、防災の大切さを感じたという感想が多かった。

○今回の日帰り留学は、全般的に非常に好評であった。普段なかなか体験することの出来ない自然体験を通しての交流は、貴重な連携強化の促進ならびに人材育成の場となった。

今回いただいた貴重な意見を活かし、今後も更に多くの方に参加していただける取り組みを継続して実施していきたい。

2. 「日帰り留学(第2回)」

※赤枠は平成26年度 新規実施



活動概要

【趣 旨】「日帰り留学」とは、山林・里山・田園地域の自然体験をとおして水源林や水の大切さ、流域の人々とのふれあいを目的として、「水源地域ビジョン」の一環として実施する行事。

- 【内 容】
- ・九頭竜川分水嶺見学:九頭竜川の源流(蝶の水)を見学
 - ・カヌー体験:ダムの湖上でカヌー体験ドラゴンカヌー+ドラゴンボート各1艇(25人程度/回×2班)
 - ・植樹体験:花桃の苗を植樹
 - ・流木工作教室:流木を使った工作
 - ・青空教室:福井豪雨の概要を学ぶ

【開催日】平成26年11月3日(月・祝)

【会場】九頭竜ダム湖(下半原)

【申し込み人数】33名(大人1名 子供32名)

※雨天により危険等が伴う恐れがあったため未実施

バスで行く
長谷川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン
上下流域連携
日帰り留学
参加無料
平成26年11月3日(祝・月)
会場 九頭竜ダム湖
集合【永平寺町から参加の方】
詳細は裏面参照
【大野市から参加の方】
JR越前大野駅北側駐車場(9:00集合)
昼食・飲物等は各自ご持参ください。
ダムの湖上でカヌー体験
九頭竜川の源流(蝶の水)を見学
流木工作教室
花桃の植樹体験
お問合せ
国土交通省・九頭竜川ダム総合管理事務所(日帰り留学課) TEL.0779-66-5300
申し込み方法は裏面をご覧ください。

■日帰り留学の案内チラシ

3. ダムツーリズム(九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー)



概要

九頭竜ダムは夏に地元前坂キャンプ場と共同で、大野市旧和泉村地区を巡る民間バスツアーのルートに組み込まれた。

地域の観光資源の一つとしてダムの活用が図れたことは有意義であり、今後の水源地の活性化にも一役買える管理を実践してゆく。

主催
■特定非営利活動法人
こども自然体験塾

実施内容
■親子でドラゴンカヌー&化石発掘体験
■九頭竜ダム見学
■サマーキャンプ(こども自然体験塾)等

実施状況
■H25年度
旅行会社名:カッコウツアー
参加人員等:計3回 82人
■H26年度
旅行会社名:(株)JTN
参加人員等:最少催行人員に達しなかったため未実施

福井県 大野 日帰り
炭火焼きバーベキューランチ付き!
親子でドラゴンカヌー&化石発掘体験

日帰り旅行代金(おひとり) **6,980円** **7,280円**
5,980円 **6,280円**

行程 各地出発→大野(化石発掘体験)→前坂キャンプ場(バーベキューランチ)→九頭竜ダム(見学)→九頭竜湖(ドラゴンカヌー体験)→各地到着(18:30~18:50)

コース番号	発着地(出発時間)	出発日
340800-S	名古屋(8:00)	7月24・31 8月3・8・11・17 21・24
340816-S	一社(8:00)	7月27 8月4
340837-S	一宮(8:20)	7月28 8月10

※大野市を満喫!九頭竜湖でドラゴンカヌー体験
 ※世帯の人数見分ちむ(化石発掘体験)
 ※昼食は家族でワウ(1)炭火焼きバーベキューランチ!
 ※九頭竜ダムを見学しよう!
 ※ドラゴンカヌーは約20名乗りになります。
 ※採取した化石は一人2~3個お持ち帰りできます。

小学生対象 バスツアー 主催 NPO法人 こども自然体験塾

さあ!夏休みは子ども達だけで **サマーキャンプ** に出かけよう!!

海! 山! 川!

お子様だけの参加でも **安心!安全! こども自然体験塾のサポート体制**

集合時から解散時まで、お子様8~10人の割り合いで、インストラクターが1名引率し、責任を持って子ども達の大冒険をサポートします!!

- 安心1** 健康管理の徹底 事前に「健康調査票」を送付します。この学童当分の集合場所にて、職員インストラクターが提出済み、お子様の体調や注意事項を確認致します。
- 安心2** プロの技術で大冒険をサポート インストラクターは「自然体験プログラム専門」の専任スタッフが必ず参加し、安全かつ安心な大冒険をサポートします。日帰り研修等も実施しています。
- 安心3** 入水プログラムは、参加者全員「ライフジャケット」を着用! こども自然体験塾ツアーでは、海や川など入水するプログラム体験時に安全確保の為、全員ライフジャケットを着用して実施します。
- 安心4** バスの行き帰りも安全管理の徹底 大野市乗降は、50人超への乗降を想定しています。トールバスに専用バスを確保し、時間30分~20分程度を目安に予定しています。高速道路SA・PAの専用車庫にて安全管理徹底の為、全員一組に行動します。
- 安心5** 宿泊ツアーでは夜も万全の体制 インストラクターは、夜もお子様と一緒に寝る。夜間もシークの夜寝方万全の体制で実施し安心です。

小学生対象 児童教育事業 主催 特定非営利活動法人 こども自然体験塾

2014年夏休み保存版 **さあ!子どもたちだけでサマーキャンプに出かけよう!!**

夏休み自然体験教室 参加会員募集のご案内

特定非営利活動法人 こども自然体験塾とは、日本の山村・漁村の豊かな自然環境を活用した自然体験教育事業を推進し、もつて子ども達の健全育成及び豊かな自然環境の保全並びに、山村・漁村の地域振興に寄与することを目的としています。

兄弟姉妹 日帰り 500円 同時参加 1,000円 別途!!

海へ!山へ!川へ!日帰りや宿泊などいろいろなプログラムをご用意しました!!

高尾山の清らかな川で遊ぼう!!
ちびっこリポートレッキング&魚のつかみ取り体験
 7,980円

映画のロケ地にもなるようなトロピカルビーチに行こう!!
エメラルドな田舎白浜でシュノーケリング&海あそび体験!!
 7,980円

海の人気者どぶれあろ!!
イルカアドベンチャー in日間賀島! 1泊2日
 19,980円

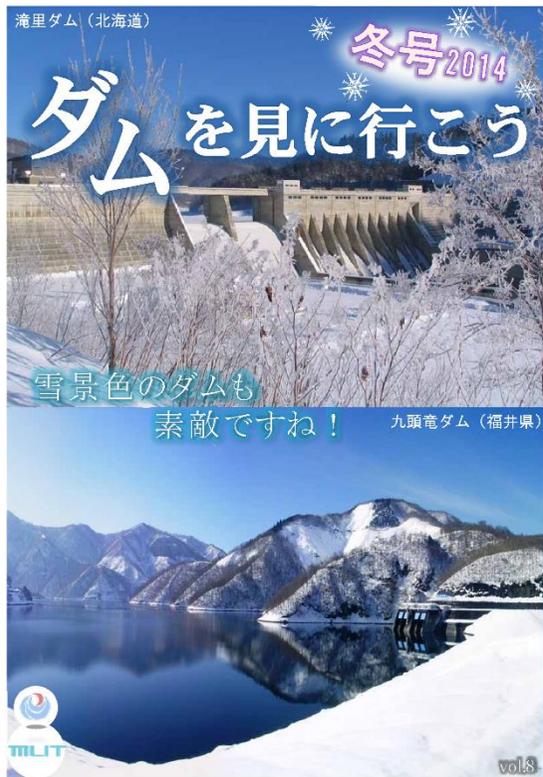
名古屋市教育委員会、福井市教育委員会、四日市教育委員会、桑名市教育委員会、長野県下伊那郡飯綱村役場、長野県NPO法人 矢野川流域の森のぼ

親子でドラゴンカヌー & 化石発掘体験 パンプ

サマーキャンプパンプ (子供自然体験塾)

ダムツーリズムの推進状況（国土交通省HP）

国土交通省では、民間ツアー会社と連携してダムツアーを実施している。ダムとその周辺地域の環境を活用し、地域と連携してダムの観光資源としての活用を図っている。また、ダムの工事現場も活用して完成前から観光資源としての効用を発現できるようダムのツーリズムを推進している。



■Vol.8 「ダムを見に行こう（冬号2014）H26.12発刊

ダムツアーの紹介					
建設年度	ダム名	建設地	主催者	ツアー内容	HPアドレス
1994年	滝里ダム	北海道	滝里ダム建設委員会	ダム見学、ダム博物館見学、ダム周辺の自然観察	http://www.takiri-dam.com

ダム周辺でのイベント紹介					
建設年度	ダム名	開催時期	主催者	イベント内容	HPアドレス
2014年	滝里ダム	11月1日（土）	滝里ダム建設委員会	ダム見学、ダム博物館見学、ダム周辺の自然観察	http://www.takiri-dam.com



■Vol.7 「ダムを見に行こう（秋号2014）H26.10発刊



■Vol.6 「ダムを見に行こう（夏特集2014）H26.7発刊



4. ダムカードの配布とダムマニアとの連携

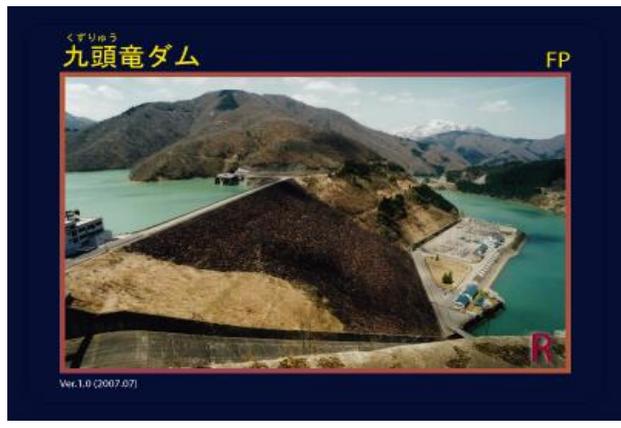
ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

- 平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
- ダムや周辺施設のみで配布
- 全国统一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載 (サイズ:縦6.3cm×横8.8cm)
- 九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内



■ダムカード表面 (真名川ダム)



■ダムカード表面 (九頭竜ダム)

DAM-DATA

所在地: 福井県大野市下若生子
 河川名: 九頭竜川水系真名川
 形式: 不等厚アーチ式コンクリートダム
 ゲート: クレストゲート×4門
 コンジットゲート×2門
 小放流バルブ×1門
 堤高・堤頂長: 127.5m・357m
 総貯水容量: 1億1,500万m³
 管理者: 国土交通省
 本体着工/完成年: 1967/1977年
詳しいデータはこちら <http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/>

こだわり技術

真名川ダムの形状は、放物線フラットアーチタイプである。又、耐震上有利となるように、下流側への傾斜量を堤高の12%としており、当時としては高い施工技術力が必要であった。

■ダムカード裏面 (真名川ダム)

■真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況

(平成26年1月～平成26年12月末現在)

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
平成26年配布枚数	1,080枚 累計:8,267枚	4,673枚 累計:18,525枚

ダムマニアとの連携

【ダムマニアとは】

- ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
- インターネットやイベントを通じて交流
- 近年、メディアでも話題に

【ダムマニアとの連携】

- 森と湖に親しむ旬間(平成26年7月)で、「ダムマニア」の方々により、自然再生エネルギーである水力発電の魅力を再認識してもらうように、パネル及び写真で説明、紹介
- ダムマニアの方々が作成したオリジナルのダムカードを展示(九頭竜ダム管理支所)



■ダムマニアの方々によるプレゼンテーション
(森と湖に親しむ旬間)



■真名川ダム会場
堤体内通路での
写真撮影



■ダムマニアの方々が作成したオリジナルの
「ダムマニアカード」
(森と湖に親しむ旬間 九頭竜ダム会場)

5. 福井豪雨10年パネル展示

概要

【福井豪雨10年パネル展】

- ・九頭竜ダム・真名川ダム等、水域の自然、防災や水利用面の働き等を紹介するパネル展示を行う。
- ・治水や利水の役割等を紹介し、下流域住民に関心を持ってもらう。また、水源地域の保全の必要性を理解してもらう。

■ダムの効果

ダム関係

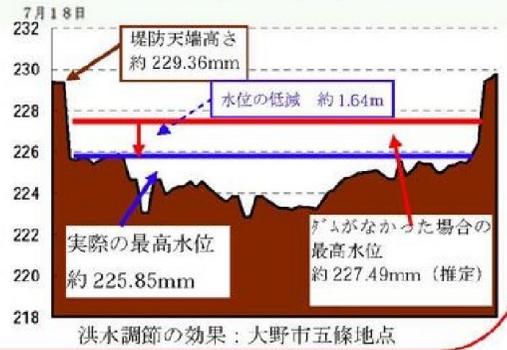
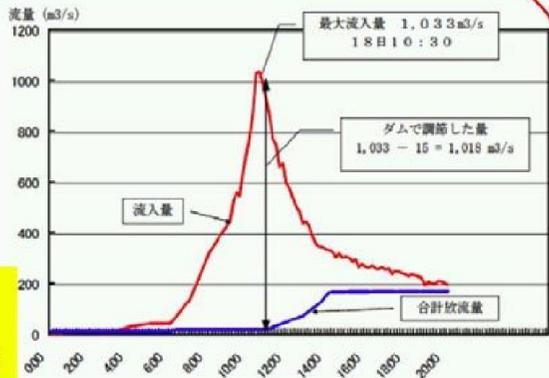
九頭竜川上流の支川真名川にある真名川ダムでは、18日10:30に最大流入量1,033m³/sを記録した。これは、昭和54年に真名川ダムが完成し、管理を開始して以来、最大の洪水となった。

真名川ダムの効果

ダムの操作により、下流への洪水の流下を最大約1,000m³/s低減させることにより下流河川の水位を下げる事ができました。

もし、ダムがなかったら、大野市五条方地点では、水位が堤防天端からあと1.87m下まで達していたものと想定されます。(実績最高水位:18日16時2.35m)

ダムによる効果で約1.64mの水位低減効果がありました。



■福井豪雨



土石流で道路が寸断、民家や大木が流された福井市浄教寺町 = 19日午後2時半ごろ

■ふくいの水防災を考える会の活動

【巡回パネル展】

「福井豪雨から10年 ふくいの水防災を考える会」、NHK福井放送局、福井新聞社は、福井豪雨から10年を契機に、当時の出来事を風化させず、日ごろの防災意識を再確認していただくきっかけとして、6月23日の福井県庁ホールを皮切りに、県内各地でパネル展を実施している。

ふくいの水防災を考える会の活動

大きな被害をもたらした福井豪雨から今年で10年。その後も自然災害による被害は全国で後を絶ちません。台風や大雨による河川の氾濫、大震災など、いつどこで起きてもおかしくない災害に備えて、日ごろから水防災に対する意識を持っておく必要があります。福井豪雨から10年ふくいの水防災を考える会を平成26年8月に立ち上げ、身近に起こりうる自然災害に備え、子ども目線で防災を考える事業を展開してきました。

巡回パネル展 (福井豪雨、嶺南豪雨)



- 6月23日(水)～28日(日) 福井県庁ホール
- 7月6日(金)～9日(日) 福井新聞社・風の森ギャラリー
- 7月10日(水)～17日(日) 福井市かみろ図書館
- 7月16日(金)～18日(日) 福井市立中央図書館
- 7月19日(水) 福井県民ホール
- 7月26日(水)～27日(木) 福井県産業会館(ふくいマナササキ)
- 7月26日(水)～31日(日) 福江市文化の館(図書館)
- 8月1日(金)～28日(日) 福井県立図書館
- 8月29日(水)～9月10日(日) 福井市立図書館
- 9月16日(水)～26日(日) 小浜市役所
- 9月27日(水)～10月5日(日) 福井県立若狭図書館学習センター

防災補助教材を制作



小学生向けの補助教材「災害かみゆり」を編みだして、市内の小学校などに配布しました。

家族でかかんに わが家のぼうさいコンテスト

地域の危険を調べ、危険場所、産品の危険を定めるコンテスト。05月の応募があり、9月に審査会を行い、入賞者37名を表彰しました。

キックオフシンポジウム

「聞いて直そう、福井豪雨の教訓～あれから10年」

- 7月19日(水) 福井県民ホール
- 福井豪雨パネル展
- NHKが募集した写真、体験談の展示
- 「いのち未来へ(福井豪雨の記録)」上映 (NHK)
- パネルディスカッション「命を守るための避難」
- パネリスト 牛山 繁行氏 福井大学防災センター 所長
- 和下 毅氏 福井県防災課 課長
- 竹内 成和氏 福井県 一次災害対策協議会 代表理事
- 新田 幸平氏 福井県 消防総務課 課長
- 福井豪雨を考える会 製作をよこす会
- 福井地区自立防災組織連絡協議会
- 進行 佐伯 真樹 中興福井建設(株)プロジェクト(代表)



総括シンポジウム

「災害に強い地域をめざして」

- 10月11日(水) 福井県立金沢総合センターホール
- パネル展示
- ぼうさいコンテスト入賞作品
- 福井豪雨記録写真
- NHKが募集した写真、体験談
- 上映(福井豪雨の記録映像集)
- パネルディスカッション「災害に強い地域をめざして」
- パネリスト 角 哲也氏 福井県立防災文化センター 所長
- 福井豪雨を考える会 製作をよこす会
- 栗村 新一氏 福井県 県民生活部長
- 藤久保 司氏 福井県立防災文化センター 所長
- 進行 山下 裕己 福井県消防総務課



巡回展示会の様子

- 福井県庁 :平成26年6月23日～26日
- 福井市役所 :平成26年7月16日～18日
- 福井県民ホール :平成26年7月19日

- 福井県立図書館:平成26年8月29日～9月10日
- 福井商工会議所:平成26年10月11日



■福井県庁



■福井県庁



■福井市役所



■福井市役所



■福井県民ホール



■福井県民ホール



■福井県立図書館



■福井県立図書館



■福井商工会議所



■福井商工会議所

6. ダム湖周辺の紅葉情報提供



概要

真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年を引き続いて実施。

【期間】平成26年10月8日(水)～11月28日(金)

【URL】九頭竜川ダム統合管理事務所

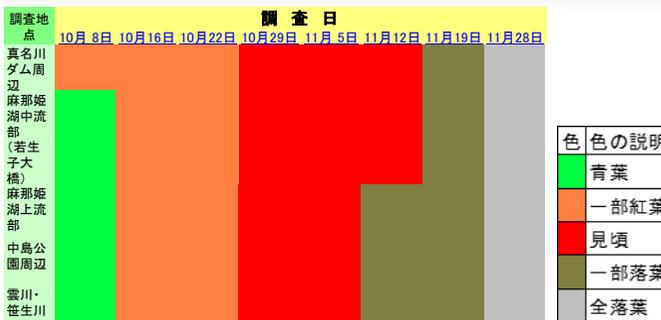
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>

真名川ダム(麻那姫湖)周辺



真名川ダム周辺の紅葉情報(2014年度版)をお届けいたします。

平成26年10月29日現在
 麻那姫湖(真名川ダム湖)周辺では紅葉も見頃となりました。来週あたりには落葉が進むと思われるので、ここのごところ連続して休み明けは天気の良い日、このコーナーの写真撮影に支障となっています。来週の天気はどうでしょうか。現在、真名川ダム周辺及び上流部で様々な工事が行われており、国道157号を工事車両が多く通行していますので、お立ち寄りの際は安全には十分、ご注意ください。



色	色の説明
青	青葉
黄	一部紅葉
赤	見頃
茶	一部落葉
白	全落葉



真名川ダム周辺の調査地点の位置図



真名川ダム周辺(下流部)



雲川(国管理区間上流端)

九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺



今週のおすすめ

九頭竜湖周辺で見かけた、おすすめの写真を紹介いたします。
 きれいに色づいたクリスマスツリーのような紅葉を見つけました。
 撮影場所をホームページではお知らせしませんので、知りたい! という方は、九頭竜ダム管理支所に掲示してありますので見に来て下さいね。



■九頭竜ダム周辺の調査地点の位置図

調査地点	調査日							
	10月8日	10月16日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月28日
九頭竜ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
九頭竜湖左岸	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
箱ヶ瀬橋付近	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
九頭竜湖上流部	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉	一部紅葉

色	色の説明
青	青葉
オレンジ	一部紅葉
赤	見頃
黄緑	一部落葉
白	全落葉



■下半原(ダム左岸側からダム右岸側を撮影)



■ダムサイト(影路艇庫への市道より撮影)



■貯水池
(管理支所から貯水池(ダム上流)を撮影)



■箱ヶ瀬橋下流(箱ヶ瀬橋上から下流側を撮影)



■ダム全景
(ダム下流側国道沿い展望台より撮影)



■大谷付近(大谷橋からダム左岸側を撮影)

7. ダム湖の自然環境保全の取り組み



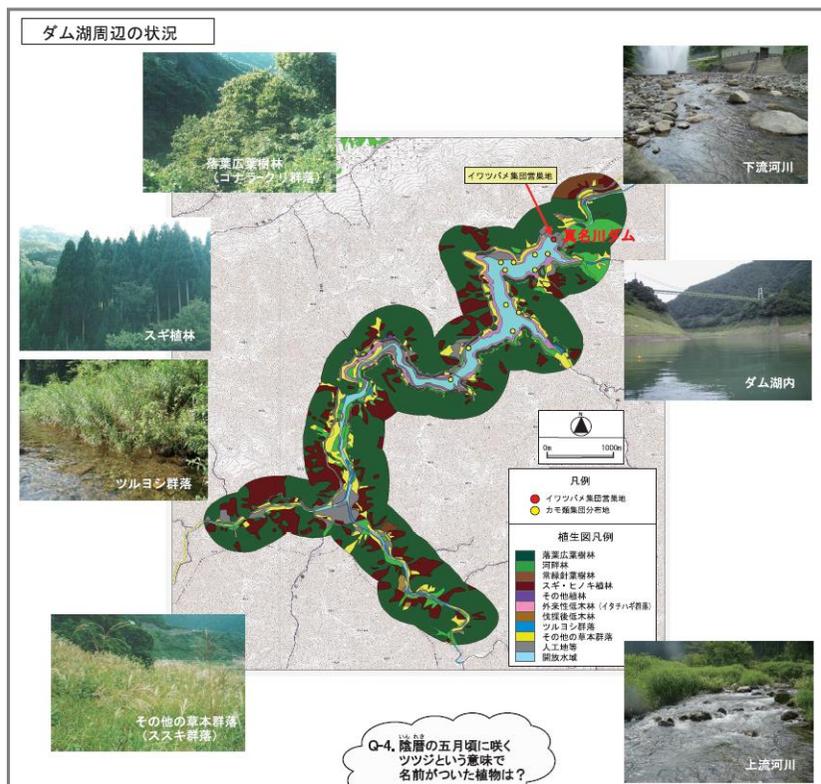
真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

【概要】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分りやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所にて配布している。

【概観】 サイズ:縦10cm×横20cm／屏風折 全12ページで構成

【配布状況】 ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布

【掲載例】



■真名川ダム環境マップのマップ面



■九頭竜ダム環境マップの底生動物、魚類のページ例

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【カワウ対策】

カワウの繁殖により、九頭竜ダム湖でも営巣地では樹木の枯死が発生している。また、九頭竜ダム湖の魚類ばかりでなく、福井県奥越地方や岐阜県飛騨地方などでも、アユ、ウグイ、フナ等の漁業被害が広がっていると言われている。

カワウによるアユ等の放流魚の食害に苦しむ奥越漁業組合の要請と「大野市鳥獣被害防止計画」に基づき、平成24年6月に福井県猟友会和泉支部が、九頭竜ダム湖河畔の大規模コロニーのカワウに対し「個体調整」を実施し、2回で合計172羽の個体調整を実施した。なお、卵と雛は調整の対象外とした。その結果、平成25年度は小規模コロニーへと変わり、個体数も減少した。

平成26年度も4月にカワウ生息・営巣状況の確認を実施し、合計50羽以上の個体数を確認した。

【カワウの生息・営巣状況の確認(平成26年度)】

実施日	生息・営巣状況	備考
4月23日	50羽以上	九頭竜ダム湖 越戸谷川(左岸)中流～上流

(※湖面巡視にて確認)

4月22日貯水位：550.0m

※5月20日貯水位：552.4m



■カワウのフンの影響による樹木の枯死が発生

カワウ生息・営巣状況(平成26年)



■平成26年4月23日生息・営巣状況 (貯水位: 550.0m) 50羽以上 ※湖面巡視にて確認

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【コクチバス対策】

平成19年度に「河川水辺の国勢調査」の一環として魚類調査を行った際、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を捕獲確認。コクチバスは繁殖能力が高く、駆除せずに放置した場合、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあると考えられるため、平成21年度より調査を実施している。

【技術向上の取り組み】

技術力向上の一環として、九頭竜ダムで生態系研修会を実施した。これは、福井県水産課・内水面総合センター・奥越漁協・電源開発・大野市と共同した、外来魚駆除一斉活動の中であわせて行ったもので、九頭竜ダム管理事務所職員7名が参加しての、総勢20名で行っている。

研修会では、

- ① 駆除対象魚(コクチバス)の特徴や習性
- ② 今回使用する器具の説明
- ③ 実施ポイントの勉強会を行ったのち、ダム湖各地に別れて、小型ボートによる刺し網と陸上からの竿釣りによる駆除方法の体験実習を行なった。



■勉強会での説明

研修概要

開催日時:平成26年6月26日(木) 10:00~15:30

実施場所:福井県大野市長野(九頭竜ダム)

- 研修次第
- 勉強会 ・対象魚, 探索方法の説明
・使用器具の説明 ・ポイントの説明
 - 刺し網, 竿釣りによる駆除方法の体験実習
 - まとめ



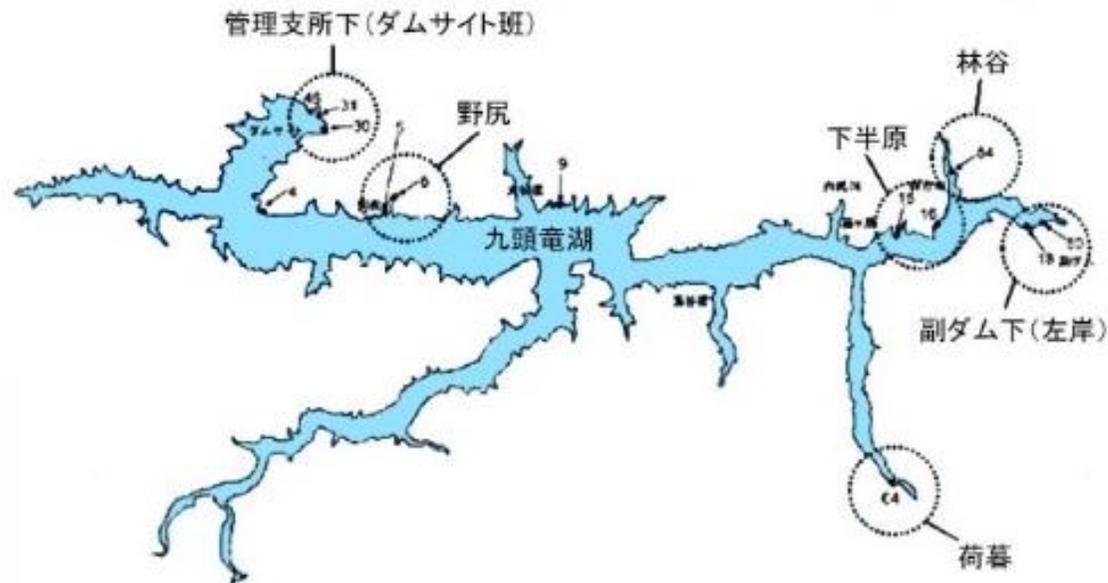
■コクチバスの親魚

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【コクチバス対策 調査結果】

6月の活動では、初日26日だけでも、数時間で8匹捕獲された。そのうち4匹は竿釣りによるもので、竿釣りの有効性も一定確認した。刺し網は、翌日27日に引き上げが行われ、初日とあわせて35匹の捕獲に成功し、中には体長50cmクラスも確認された。

■ 駆除実施ポイント



	場所(地点番号)	時間目安
1	下半原(15・16)	10:00~11:00
2	林谷(54)	11:00~11:30
3	副ダム下左岸(50・18)	11:30~12:30
4	荷暮(64)	13:30~15:00
予備	野尻(6)	時間が余れば



■ 陸上からの駆除状況



■ 小型ボートによる駆除状況

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【コクチバス対策 まとめ】

■日刊県民福井新聞に掲載されたり、福井放送等で放送された

コクチバス 駆除
九頭竜ダム 在来魚に影響 県や奥越漁協

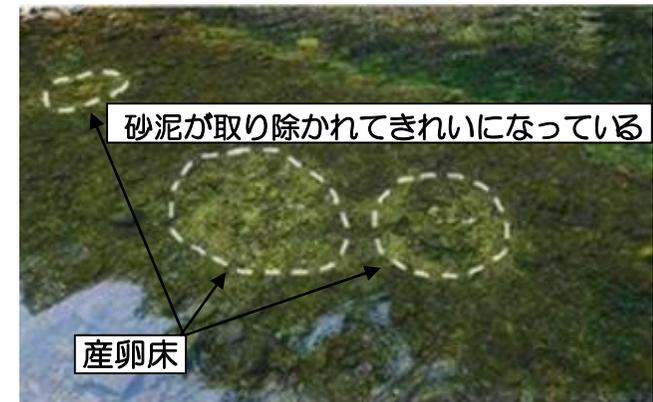
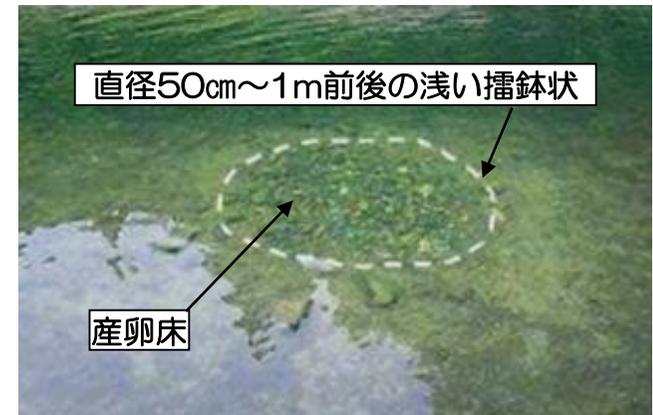
県と奥越漁業協同組合などは二十六日、大野市和泉地区の九頭竜ダムで、特定外来生物に指定されているブラックバスの一種「コクチバス」の駆除作業を始めた。両者が連携した大掛かりな駆除は二年目で、在来魚を守るため刺し網を使ってバスの捕獲に挑んだ。二十七日も行う。

九頭竜ダムでは二〇〇七年にコクチバスの繁殖が確認された。もともと生息するイワナ、ヤマメ、フナ、コイなどの生息数に影響を及ぼす懸念があり、ダムでの遊漁を管理する奥越漁協が県と駆除に取り組んでいる。県内ではコクチバスの唯一の生息地だという。

捕獲の対象は、産卵場所近くで稚魚などを守っている雄の成魚。これまでの県の調査でダム湖畔の約七十分所が産卵場になっていると分かっており、このポイントを中心に十三枚の刺し網（長さ三〇m、深さ一・五m）などを仕掛けた。ダム管理事務所近くでは、体長三〇cm程の二匹のコクチバスがかかった。県内水面総合センターの岩谷芳自所長は「心ない人の密放流が原因。在来魚の被害が顕著になる前に少しでも駆除しないと」と警鐘を鳴らし、奥越漁協の新井俊也組合長は「バス釣りはしないでほしい。他の釣りでバスを釣り上げたら、漁協に連絡し、持ち帰ってもらいたい」と話していた。

県によると、コクチバスの生息数は不明だが、五月中旬～六月中旬に計三回の小規模な駆除を実施し、三十八匹を捕獲したという。コクチバスは北米原産。肉食性が強く、魚などを好む。外来生物法で特定外来生物に指定され放流や飼育は禁止されている。（尾崎隆宏）

コクチバスの親魚



【まとめ】

外来魚の繁殖は、本来の生態系への影響が危惧されており、全国的に問題となっている。外来魚に関する生態や駆除方法を学習・体験することにより、今後の環境対策やダム管理に大いに役立つものと思われる。

参加団体からは、今回の取り組みがマスコミに取り上げられたことから、バス釣りや外来魚の放流を助長しないか？ といった危惧の声も出され、新たな課題も浮き彫りになっている。

今後も、各団体と共同した取り組みを広げていく必要がある。

■駆除対象魚の特徴・習性

8. 真名川ダム弾力的管理

概要

真名川ダム弾力的管理として、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して放流試験を平成15年度より実施している。
 実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導をいただいている。

これまでの実施状況と今後の予定

試験	実施時期	実施日	ダム放流量のピーク流量	置土			自然再生試験	
				置土量	材料	場所		
試験 「つれづれの峡」	フラッシュ放流		H15.9.30	25m ³ /s	—		—	
		秋期	H16.11.15	45m ³ /s	約220m ³	貯水池上流の堆積土	八千代橋上流 約0.5km(左岸)	—
		夏期	H17.8.2	25m ³ /s	—		—	
		冬期	H17.12.8	40m ³ /s	約200m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約0.6km(左岸)	—
		秋期	H18.11.15	45m ³ /s	約200m ³	貯水池上流の堆積土	君ヶ代橋上流 約0.8km(左岸)	—
		秋期	H19.11.8	45m ³ /s	約330m ³ +650m ³	貯水池上流の堆積土 +河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	新水路の創出
		秋期	H20.11.18	45m ³ /s	約100m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	旧河道の再生
		春期	H22.4.14	70m ³ /s	約140m ³	河川敷の掘削土	八千代橋上流 約1.5km(左岸)	ワンド(緩流域)の創造
	自然出水再現放流 (弾力放流)	融雪期	H23.4下旬~H23.5	136m ³ /s	約280m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	エコトーンの創造
		夏期	H23.9.21	365m ³ /s(自然出水)	—		—	
		融雪期	H24.4	50m ³ /sにカットして放流	約360m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		夏期	H24.9.18	230m ³ /s(自然出水)	—		—	
		融雪期	H25.4	最大約30m ³ /s放流 (融雪出水)	約320m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		夏期	H25.7.30	213m ³ /s(自然出水)	—		—	
		夏期	H25.9.16	320m ³ /s(自然出水)	—		—	
		本格運用 期間	融雪期	H26.3下旬~H26.4月上旬	132m ³ /s	—		—
夏期	H26.8.10		407m ³ /s(自然出水)	—		—		

平成
26
年度

平成
27
年度

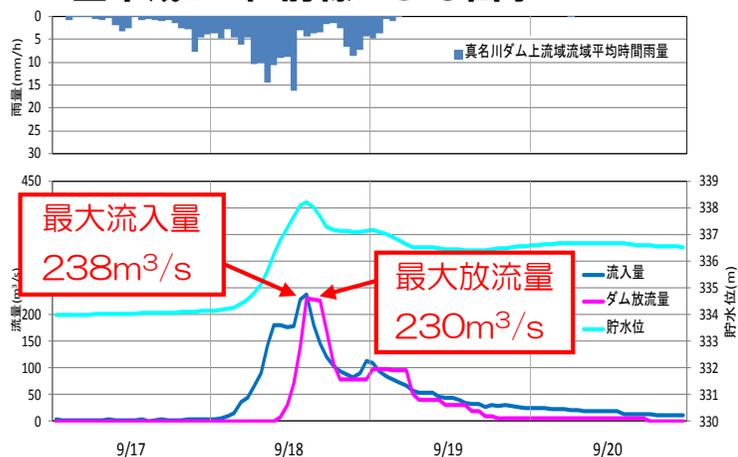
本格運用へ移行

平成26年度の実施結果

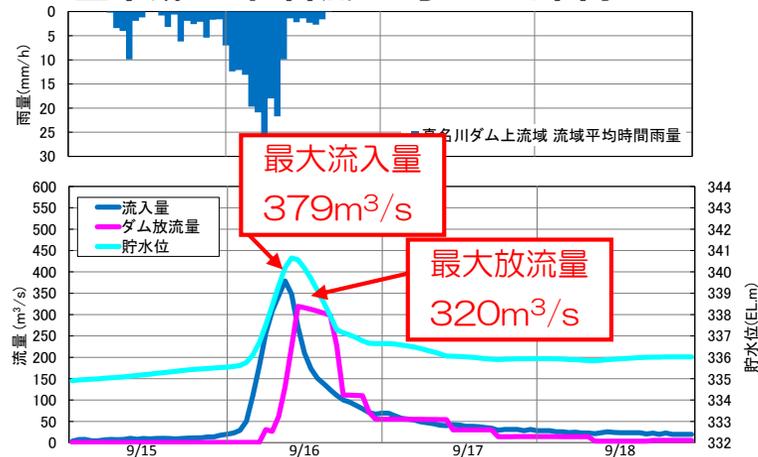
【近年の自然出水の状況】

- ・平成23年に既往第3位、平成25年に既往第5位の放流量(いずれも台風による)を記録した。
- ・平成26年8月には、既往第2位となる台風11号による407m³/sの放流量を記録した。

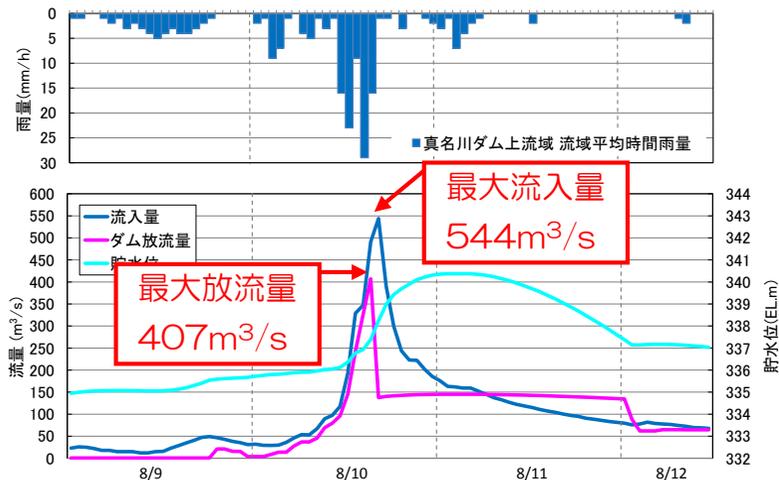
■平成24年 前線による出水



■平成25年 台風18号による出水



■平成26年 台風11号による出水



歴代ダム放流量のピーク流量順位 (真名川ダム完成以降)

順位	発生日月	ダム放流量 (m ³ /s)	流入量 (m ³ /s)	備考
1	H1.9.7	464	404 (536 ^{**})	秋雨前線
2	H26.8.10	407	544	台風11号
3	H23.9.21	365	428	台風15号
4	H10.9.22	344	469	台風7号
5	H25.9.16	320	379	台風18号

※流域流出量 (10分データ)

9. 微小粒子状物質(PM2.5)の濃度(ダム湖周辺)



福井県の微小粒子状物質(PM2.5)濃度速報(福井県衛生環境研究センター)

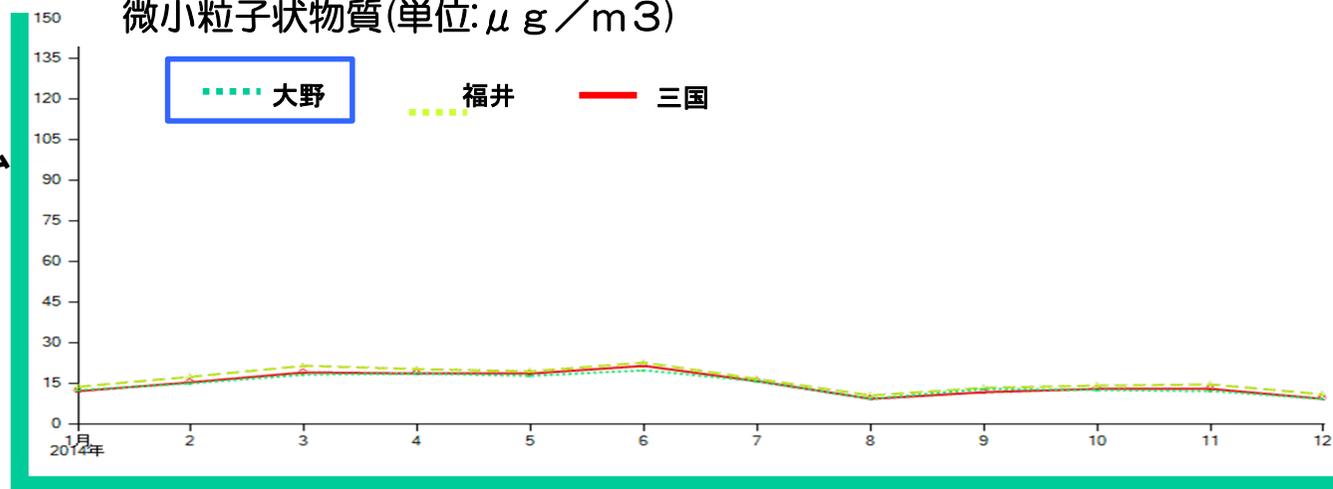
【概要】 微小粒子状物質(PM2.5)は大気中に発生する浮遊する粉じんのうち、粒径が2.5 μm以下の粒子状物質のことをいう。環境基準では「1年平均値が 15μg/m³ 以下であり、かつ、1日平均値が 35μg/m³ 以下であること」と定められてる。福井県衛生環境研究センターでは微小粒子状物質の濃度速報をHPで公開し、大気汚染が著しくなった場合には注意報等を発令している。

【測定状況】 平成26年度の真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺(大野測定局)の微小粒子状物質(PM2.5)の濃度は4・5・6月に計7日、基準値を超えた日がある。以下のグラフに月別の濃度の平均値と月間値を示す。

■大気汚染測定局位置図



■平成26年1～12月 経月グラフ (平均値)
微小粒子状物質(単位: μg/m³)



■環境省報告 平成26年4月～12月(月間値) 大野測定局 微小粒子状物質濃度

測定局	統計項目	単位	H26年											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
大野	有効測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31		
	年/月平均値	(ug/m ³)	18.6	17.7	19.8	15.6	9.2	12.7	12.2	11.9	9			
	日平均値の最高値	(ug/m ³)	53.1	43.7	39.7	34.2	27.6	20.5	25.8	20.3	23.2			
	日平均値の年間98%値	(ug/m ³)												
	日平均値が35ug/m ³ を超えた日数	(日)	3	2	2	0	0	0	0	0	0			
	日平均値が35ug/m ³ を超えた日数割合	(%)	10	6.5	6.7	0	0	0	0	0	0			

10. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況



【概要】

住民や各関係者等に広く水源ビジョンを認知してもらうため、ホームページ等による水源地域情報の発信、関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実を進めている。※1.更新日はH27.2.14時点で確認

■ホームページ	■更新日	■リンク先(委員会メンバー)
真名川ダム・九頭竜川 ダム水源地域ビジョン	H27.2.11	○大野市観光協会
		○奥越漁業協同組合
		○大野市漁業協同組合
		○大野商工会議所
		○大野青年会議所
		○NPOドラゴンリバー交流会
		○北陸電力福井支店
		○電源開発株式会社九頭竜電力所
		×福井市建設部
		○福井県河川課
		○福井県電気課
		○福井県奥越農林総合事務所
		○近畿中国森林管理局福井森林管理署
		○近畿地方整備局河川管理課
		○近畿地方整備局福井河川国道事務所
		○大野市
		○九頭竜川ダム統合管理事務所 (地域活動団体等)
		×ピオフレンズ
		○大野の水を考える会
		○越前大野もてなし隊
		○本願清水イトヨの里(大野市HP内)
		○ノーム自然環境教育事務所
		○里山銀杏峰(げなんぼう)を愛する会
		○大野親岳会
		△大野明倫館(大野市役所)
		○平成大野屋
		○観光ボランティアガイド大野 (大野市観光協会)
		○自然暮らしの会
×和泉村ファンクラブ		

■委員会構成機関ホームページ	■更新日
大野市観光協会	H27.2.14
九頭竜森林組合	H27.2.14
奥越漁業協同組合(内水面 奥越)	H26.5.27
大野市漁業協同組合	H27.2.14
大野商工会議所	H27.2.14
大野青年会議所	H27.2.14
OASIS協会	H24.7.9
NPO法人九頭竜自然楽校	H27.2.14
NPOドラゴンリバー交流会	H26.11.11
北陸電力福井支店	H27.2.14
電源開発株式会社九頭竜電力所	H27.2.14
福井市建設部	H27.2.14
大野市教育委員会	H27.1.22
福井県河川課	H27.2.2
福井県電機課	H26.2.28
奥越土木事務所	H27.2.13
奥越農林総合事務所	H27.2.10
近畿中国森林管理局福井森林管理署	H27.2.10
近畿地方整備局福井河川国道事務所	H27.2.13
大野市	H27.2.14
九頭竜川ダム統合管理事務所	H27.2.12
九頭竜川中部漁業協同組合	H27.2.14
奥越前まんまるサイト(ノーム自然環境教育事務所)	H27.2.14

情報の提供・共有等、利用者の利便のためにも、水源地域ビジョンの情報を掲載し、リンク先を準備することが望まれる。
 なお、水源地域ビジョン推進委員会構成機関の大野市区長連合会、真名川土地改良区連合、大野市連合ふわわ女性の会のホームページはまだ準備されていない。

※2.リンク先の()書きは、ビジョン関連以外でリンク先を掲載しているものを示す。
 リンク先の○は接続できるもの、△は別サイトへの接続、×は接続できないものを示す。

11. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、交流人口の増加と地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

【主催】大野市/九頭竜まつり実行委員会

【共催】(一社)大野市観光協会/福井新聞社

【後援】(公社)福井県観光連盟/
JR西日本福井地域鉄道部/
NHK福井放送局/
FBC福井放送/
福井テレビ/
FM福井

【会場】九頭竜国民休養地
(大野市角野)



↑ 第35回紅葉まつりポスター

← 第28回新緑まつりポスター

第28回九頭竜新緑まつり

【日 時】平成26年5月17日(土)・18日(日)

【内 容】 ■ 結の故郷ゾーン、新緑ステージ、新緑市場、遊びの広場、くらしの情報コーナーなど

■ 化石発掘体験、流木チェーンソーアート、フリーマーケット

【入込み人数】 約48,500人



■ 新緑ステージ



■ 新緑市場



■ 木工体験



■ フリーマーケット



■ 流木チェーンソーアート



■ ダムに関するパネル展

第35回九頭竜紅葉まつり

【日 時】平成26年10月25日(土)・26日(日)

【内 容】 ■結の故郷ゾーン、紅葉ステージ、紅葉市場、流木コーナー、くらしの情報コーナーなど

■トロッコ列車乗車体験、化石発掘体験、越前美濃街道広域観光交流推進協議会PR

【入込み人数】 約66,500人



■紅葉ステージ



■紅葉市場



■流木無料配布



■化石発掘体験



■無料ふるまい大鍋



■トロッコ列車乗車体験

12. 第7回もりみずカップ少年サッカー大会

概要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。

【開催日】 平成26年6月28日(土)・29日(日) 【会場】 奥越ふれあい公園陸上競技場
 【主催】 もりみずカップ実行委員会 / フェンテ大野フットボールクラブ 【協賛】 九頭竜川ダム統合管理事務所 / 大野市
 【後援】 福井新聞社 / 越前おおの農林楽舎

参加チーム

- 岐阜県郡上市
白鳥サッカースポーツ少年団 / 美並サッカースポーツ少年団
- 坂井市
三国ジュニアサッカークラブ / 春江町サッカースポーツ少年団 / (準優勝)
鳴鹿明章サッカースポーツ少年団 /
- 福井市
森田サッカースポーツ少年団 / エンデバー中藤フットボールクラブ / 河合ウイズダム /
- 永平寺町
松岡サッカースポーツ少年団 / 永平寺サッカースポーツ少年団

- 勝山市 勝山サッカーアカデミー
- 大野市
フェンテ奥越FC / フェンテ大野FCスポーツ少年団 / FCおおのスポーツ少年団(優勝) / 有終南サッカースポーツ少年団 / 和泉サッカークラブ



■九頭竜川ダム統合管理事務所長の祝辞



13. カヌーを使った水辺の安全教室

概要

B & G財団のカヌーなどの無償貸与制度を活用して、市内の小学4～6年生を対象にプールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室を行う。

【実施日】 平成26年6月29日(日)・ 7月6日(日)・
7月13日(日)・ 7月20日(日)・
7月27日(日)・ 8月3日(日)

【会場】 九頭竜湖(下半原)・ B & G海洋センタープール

【主催】 大野市教育委員会

【内容】 着衣泳、カヤック・カナディアンカヌーの操艇など

【参加者】 延べ46人

【指導】 福井県カヌー協会



■着衣泳



■プールでの操艇



■ダム湖での操艇



■カナディアンカヌー操艇



■ドラゴンボート体験



■カヌーポロ体験

14. 化石発掘体験

※赤枠は平成26年度 新規実施



概要

交流人口の増加と地域の活性化を目的に、九頭竜川上流域に位置する和泉地区の地層から産出される恐竜やアンモナイト、貝類、植物などの化石を活用して、化石発掘体験を開催。

【会場】 JR九頭竜湖駅裏(大野市朝日)

【実施日】 ①夏休み期間毎日 平成26年7月20日～8月31日
②夏休み期間以外 4月26日～11月30日の土・日・祝日

【主催】 ①大野市
②九頭竜化石研究会(和泉地区内の団体)

【内容】 化石発掘体験

【入込み人数】 延べ2,381人

発祥祭 (朝日) 開催
 化石発掘体験
 ～太古の時代へタイムスリップ～
 事前の予約不要で体験できちゃう!
 7月20日～8月31日
 期間中の毎日開催
 時間 9:00～16:00
 料金 大人・子供ともに500円
 場所 JR九頭竜湖駅裏側 (朝日側大野市朝日25-8)
 お問合せ / 九頭竜化石研究会
 0779-78-2077
 九頭竜化石研究会 検索



15. 越前おおの湧水文化再生計画



概要

古くからある湧水の再生や本市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進めるため、平成23年度に「越前おおの湧水文化再生計画」を策定。計画に基づき、平成26年度の各施策に取り組む。

大野市湧水文化再生推進連絡協議会

各施策の推進状況の報告や協議などを行い、関係機関や団体の連携強化を図る。

・(第6回)平成26年9月5日開催

・(第7回)平成27年2月27日開催予定

参加機関・団体

岐阜経済大学 森教授／京都大学 角教授／国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所／北陸農政局／福井県安全環境部・農林水産部・土木部・奥越農林総合事務所・奥越土木事務所／区長連合会／地下水対策審議会／真名川土地改良区連合／北陸電力(株)／大野市

水田湛水事業の拡大

【面積】 28.1ha(H25年 29ha)

【期間】 平成26年10月1日～
平成27年2月28日(5か月間)

【場所】 木本原地区(阿難祖地頭方 他地係)



■水田湛水の風景

地下水の水位観測・啓発など

【モニタリング】

地下水位観測	29か所32井戸
湧水量観測	中野清水 湧出量3,000ℓ/分 義景清水 湧出量 370ℓ/分
地下水質検査	6月9日・10日検査 42か所

【啓 発】

紅葉まつりなどの各種イベントへの出展
市報やチラシによる地下水・節水の啓発
越前おおの名水出前講座の開催
越前おおの環境塾「川の生き物を探そう！」の開催

【注意報・警報】

地下水位低下時に地下水注意報・警報を発令

平成26年は発令なし

【地下水保全基金】

市民などからの寄附金を積み立て、地下水保全対策に活用

平成26年度越前おおのエコフィールド事業、貯留施設整備事業に活用



■ 春日公園観測井表示板



■ 名水出前講座の風景



■ 環境塾の風景

16. 大野市森・水保全条例



概要

水源地域の保全に関し、市、市民、土地所有者、施設設置者の責務を明らかにするとともに、水源地域内の土地の所有権の移転等及び工作物の設置について、必要なことを定めることにより、水源地域の機能の維持に寄与することを目的として策定。

届出対象地域(水源地域)

市内全域の登記地目又は現況地目が、山林又は保安林となる地域

届出について

土地売買等の契約を行う場合

土地所有者は、土地売買等の契約を締結しようとする日の30日前までに、市長への届出が必要となります。(1契約が1,000㎡以上のもの)

対象工作物の設置を行う場合

水源地域内に水質を汚染する又は水量に影響を及ぼすおそれのある営利を目的とした事業に係る施設を設置しようとする場合は設置しようとする日の30日前までに、市長への届出を行うとともに、協議が必要になります。



届出件数(平成27年1月末現在) 土地売買等の契約 10件

17. 越前おおのエコフィールド



概要

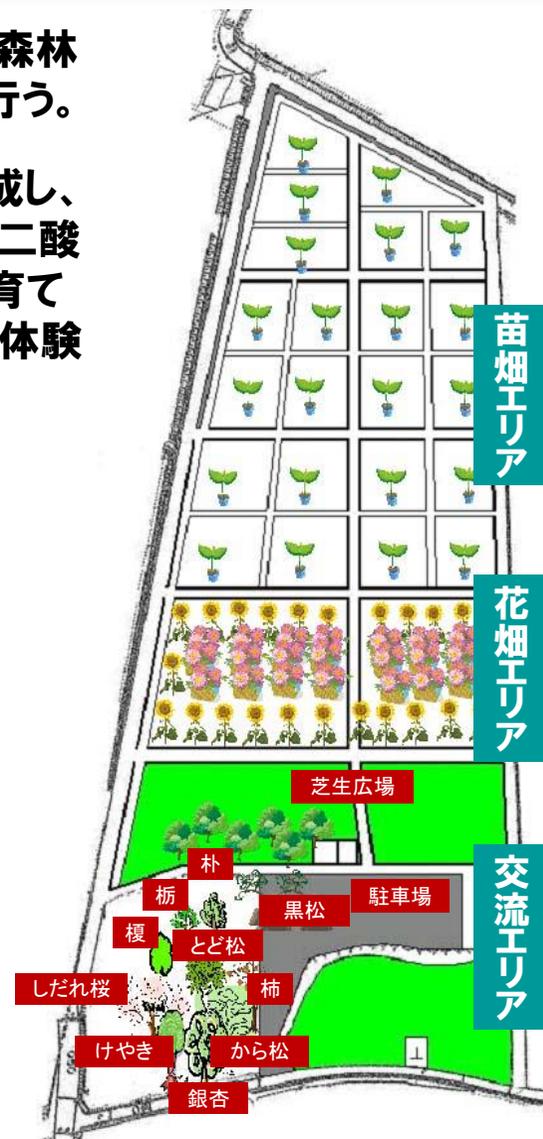
【活動概要】 参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林（もり）づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】 福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】 一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等(29団体)

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/(株)福井新聞社/福井放送(株)/
北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/大野鉄工金属協同組合/
大野市消防団/越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)/(株)タニコーテック/越前大野駅/
大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/大野商工会議所/
森永乳業(株)北陸支店福井営業所/J-POWERグループ九頭竜/
福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/
九頭竜川ダム統合管理事務所/大野青年会議所/
福井県奥越農林総合事務所/福井県奥越土木事務所/
(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団/大野市教育委員会/
大野市/一般財団法人越前おおの農林楽舎



■エコフィールド

活動状況

【ドングリの森づくり:下草刈り&補植作業】

日付:平成26年7月6日(日)

参加者:越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約30人



【ドングリの里親事業】

期間:4月中旬~10月上旬

参加者:市内小学2年生264人(市内9小学校)

市内小学1年生 5人(市内1複式学級校) 計269人



■森林のはたらきについて



■ドングリ種まき



■各自育成中



■エコフィールド 植替

活動概要

NPO法人九頭竜自然楽校は、以下の三つのミッションを掲げて活動している。

- ・親子で楽しむ自然体験活動サポート
- ・アクティブシニア層の充実したセカンドライフづくりサポート
- ・地元観光情報の発信と交流促進。

九頭竜新緑・紅葉まつり

九頭竜新緑・紅葉まつりなどで流木の無料配布と木工アート教室を開催。



■流木による木工アート教室「九頭竜新緑まつり」



■流木による木工アート教室「九頭竜紅葉まつり」

19. 流木の有効活用

概要

【流木対策】 ゲート操作などの支障とならないようにダム湖に流れ込んできた流木を回収

【有効利用】 一般の方への流木や流木から作った堆肥等の配布

(九頭竜新緑・紅葉まつり、森と湖に親しむ旬間行事など)

流木工作教室などの開催、流木のアートの紹介

堆肥の活用：「越前おおのエコフィールド」森林(もり)づくり活動に提供

チップの活用：防草用のマルチング材等として使用を予定



■ 流木配布(九頭竜新緑まつり、九頭竜紅葉まつり、真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)

■ 堆肥の配布
(真名川ダム見学会)



■ 流木チェーンソーアート
(九頭竜新緑まつり)

■ 流木アート
(九頭竜新緑まつり)

■ 流木工作教室
(真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会、九頭竜新緑まつり)

20. 真名川水辺の楽校バイオレンズ

概要

子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的に行い、目標とする生態系を目指している。

【場所】大野市南新在家の河川敷

【管理運営】真名川水辺の楽校バイオレンズ



■真名川水辺の楽校施設平面図 (パンフレット2009年度版より)

【平成26年度 バイオレンズの活動内容】

活動項目	実施日	活動内容	備考	会員人数
普及・啓発活動	6月30日・10月9日	あずまや展示変更		1名
	7月3日	有終東小学校 総合的な学習 時間出張	小人47名 大人2	2名
	7月27日	大野カントリースクール (オアシス協会主催)受け入れ	小人7名 大人4名	2名
	10月3日	下庄小学校 総合的な学習の時間	熊出没で中止	—
	10月10日	有終東小学校 総合学習 清滝川出張	小人7名 大人4名	2名
	各体験前	現地下見と危険・注意箇所の抽出・図化	体験日に情報共有化	延2名
維持管理活動	4月15日	あずまやの雪囲いはずし		延2名
	6月26日、7月1日	草刈	堤防、あずまや、施設内	延4名
	6月30日、10月9日	清掃作業	堤防、あずまや、施設内	延3名
モニタリング調査	5月18日、9月4日	陸上昆虫調査	ネットिंग スウィーピング	延2名
	2月6日	水生生物調査	定性調査のみ	1名

■普及・啓発活動



総合的な学習の時間の出張授業 (有終東小学校)

■維持管理作業



あずまやの清掃 堤防の草刈り 施設の草刈り

■モニタリング作業



陸上昆虫・水生生物 モニタリング調査

活動の目的

奥越地域の自然・産業資源を通して、次世代の地域を担う人材の育成を目的としている。

また、四季を通して地域の人材・農林業・暮らしや文化を活かしたエコグリーンツーリズムを進め、訪れる方々を対象に地域の素晴らしさを体感していただく。

継続事業～水辺編～

■ 水辺の活動(場所:九頭竜新緑まつり会場)

水辺の活動の楽しさを理解していただくためのカヌー体験を天候の安定している春や秋に実施。



- ・カヌー操作やタモ網の使い方
- ・捕獲した魚の観察と生態等の解説
- ・全員で協力しての捕獲

■ 川の安全基礎講座(石川、福井にて開催)

川の事故を防ぐために、水流水圧を体感したり、川の構造やレスキュー方法等について基本的な安全講座を開催。



- ・PFD(ライフジャケット)を装着し川流れ
- ・川の流れを読む ・中洲での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング



■ 親子体験(幼児～小学生やスポ少団体:下打波)

最近近づけることが少なくなった川での体験活動。真夏の日の水の冷たさや心地よさを親子で体験。



- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・共生(サンショウウオを通して)の理解
- ・PFDを装着しての川流れ
- ・溪流下り登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

■ 地域連携(農林楽舎・大野市環境塾)

昨年までのアグリマイスターは、今年より農林楽舎と協働でお米づくりとともに、地域の自然や人との関わり・体験をテーマに進めました。



- ・田植え～稲刈り～販売の体験
- ・赤トンボのマーキング調査
- ・野菜定植と収穫
- ・地場産食材での料理体験
- ・親子でのコミュニケーション
- ・赤根川ガサガサ隊では、夏やすみに親子を対象に生き物調査を行った。

◇最近の新規事業として……

■河川活動の支援(学校や児童クラブ:下打波・下山)

児童期には川遊びを推進しよう!を合言葉に、川の体験から多様な価値観や故郷を心身に残すべく個人や団体の活動を受け入れ。



- ・森と川の生き物探し
- ・清流での川遊び
- ・サンショウウオの生息環境の分析
- ・古民家での暮らし体験
- ・JRを利用した川遊びツアー

■その他の活動～森(ハックルベリーの森)編～

自分たちの暮らす地域において「生命のつながり」をテーマに四季を通しての体験活動を支援。「故郷」を心と身体で体験し心に刻む。



- ・四季を通しての森林環境教育
- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・樹登りやツル登り
- ・森の野生動物と人の暮らしのつながり探し
- ・幼稚園／保育園の自然体験活動の支援
- ・幼稚園／保育園の自然体験活動の支援
- ・ピザやバームクーヘン等の野外料理体験
- ・林床整備等の簡易な森林整備体験
- ・野生動物のための生息地づくり

■大人の休日シリーズ(下打波、六呂師)

豊かな自然との関わりが薄い若者世代を対象に、森／川／海／盆地等季節のフィールドを利用して実施しているOne Dayツアー。



- ・沢登りや飛び込み等の川遊び
- ・大人のためのドラム缶風呂
- ・ヨガや整体で心身を整える
- ・川でのシュノーケリング
- ・古民家暮らしの体験
- ・自転車を利用して地域資源を訪ねるポタリングツアー



◆来年度に向けて

- ・大野市の自然資源を利用して、都市との交流を強く推し進めたい(交流人口の増加)
- ・森林環境教育の一環として、森や公園等の樹木を利用してツリークライミングの展開
- ・川の活動推進のためのRACリーダー講座の実施
- ・川遊び拠点の整備
- ・近隣宿泊施設／旅行会社との連携～体験活動の提案～

平成27年度の活動について

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンについて

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンでは、『森林』、『水』、『交流』の3つの柱のもとに、水源地域活性化のための様々な活動が実施されている。

〔基本理念：真名川ダム〕

「奥越の山々に抱かれた名水のまち
大野の水のランドデザインを目指して」

〔基本理念：九頭竜ダム〕

「美しい水・森・心と出会ういやしの里づくり」

〔ビジョンの施策〕

<森林>

- 森林の保全・育成
- 森林資源の活用

- ◆水源林の保全
- ◆林業ボランティア
- ◆雑木林（里山）の活用
- ◆木工・ログハウス工房づくり
- ◆自然体験の拠点づくり

※紺色字は平成26年度の活動

<水>

- 健全な水環境整備
- 水環境の啓発
- 利水運用の工夫

- ◆水路網や清水の復元
- ◆水を生かした公園づくり
- ◆地下水位のモニタリング
- ◆水文化や愛護活動
- ◆親和性の高い水生生物の保全
- ◆家庭排水対策
- ◆農業用水管理との連携
- ◆河川の維持流量等の確保の研究
- ◆地下水位保全を図る貯水池運用の研究

<交流>

- 人材・組織の育成
- 水辺環境の活用
- 広域交流の促進

- ◆市民参加活動の拡充
- ◆将来を担う人づくり
- ◆水源地域のファンづくり
- ◆カヌー体験ゾーン形成
- ◆フィッシングゾーン形成
- ◆親水エリアのネットワーク
- ◆湖畔めぐりルートづくり
- ◆中島公園等の充実
- ◆水辺の利用のルールづくり
- ◆ブランドイメージづくり
- ◆地域間交流の促進
- ◆情報ネットワークづくり

活動における課題(ビジョンのさらなる推進に向けて)

これまでの活動を踏まえた今後の取り組みの方向性

- 【広報】 ■ 水源地域の担っている社会的な役割や重要性の理解、防災意識向上のため、過去の災害情報を含めた広報の実施
- ホームページ等による水源地域情報の発信

- 【連携】 ■ 上下流交流による住民間の「つながり・きづな」意識の醸成
- 子供たちを対象とした次世代教育等による連携の強化、ネットワークの形成
- 地域住民や民間団体、関係機関との連携強化による活動の活性化

ビジョンの推進に向けて

【広報】

- **水源地域の役割に関する情報発信** ⇒ 水源地域の役割や重要性に関する情報の発信
⇒ 奥越豪雨・福井豪雨災害の紹介等防災意識の啓発
⇒ 旅行会社等とのタイアップ(民活)
- **広報手段の改善** ⇒ ホームページ(構成委員)の充実と改善、関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実、パネル展等の開催

【連携】

- **上下流交流の促進** ⇒ 子供たちを対象とした体験型イベントにより水源地域に関心を持ってもらい、将来の水源地域サポーター、リピーターを育成
- **水源地域、周辺地域との連携** ⇒ 地域住民・NPOとの協力体制の強化、上下流連携の促進

平成27年度の取り組み(案)

- ◆【広報】①水源地域の役割や重要性に関する情報の発信や、奥越豪雨・福井豪雨災害の紹介等防災意識の啓発
- ②関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実、パネル展等の開催
- ③旅行会社等とのタイアップ(民活)
- ◆【連携】①子供たちを対象とした体験型イベントにより水源地域に関心を持ってもらい、将来の水源地域サポーター、リピーターを育成
- ②地域住民・NPOとの協力体制の強化、上下流連携の促進

もりみずアートフェスティバル

- ▼ 九頭竜ダム50周年(平成30年)に向け、流木を使ったアート作品の展覧会や流木アート教室などの開催とともに、下流域住民に水源地域の自然の魅力に関心を持ってもらう。
- ▼ 水源地域の真名川ダム等、水源地域の自然、防災や水利用の働きや、水源地域の保全の必要性を理解してもらい、水源地域ビジョンの取り組みを紹介するパネル展示を行う。

子供の交流(仮称)夏休みもりみず留学

- ▼ 下流域の子供たちが水源地域(大野市域)へ短期留学し、山林、里山、田園地域の自然を体験する。
- ▼ 次世代を担う子供たちが水源地域に関心や愛着心を持ち、今後の良きサポーター、リピーターに育つようにする。
- ▼ 子どもと一緒に来訪する保護者(大人)にも、水源地域を知ってもらう。

「日帰り留学(2回開催)」



活動概要

【趣 旨】「日帰り留学」とは、山林・里山・田園地域の自然体験をとおして水源林や水の大切さ、流域の人々とのふれあいを目的として、「水源地域ビジョン」の一環として実施する行事。

【内 容】・九頭竜川分水嶺見学:九頭竜川の源流(蝶の水)を見学
・カヌー体験:ダムの湖上でカヌー体験ドラゴンカヌー+ドラゴン
ボート各1艇(25人程度/回×2班)

- ・植樹体験:花桃の苗を植樹
- ・流木工作教室:流木を使った工作
- ・青空教室:福井豪雨の概要を学ぶ

1回目

【開催日】平成26年7月26日(土)
【会場】真名川ダム麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)
【参加者】58名(大人12名 子供46名)

2回目

【開催日】平成26年11月3日(月・祝)
【会場】九頭竜ダム湖(下半原)
【申し込み人数】33名(大人1名 子供32名)
※雨天により危険等が伴う恐れ
があったため未実施



■日帰り留学の案内チラシ

ダムツーリズム(九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー)



概要

九頭竜ダムは夏に地元前坂キャンプ場と共同で、大野市旧和泉村地区を巡る民間バスツアーのルートに組み込まれた。

地域の観光資源の一つとしてダムの活用が図れたことは有意義であり、今後の水源地の活性化にも一役買える管理を実践してゆく。

主催

■特定非営利活動法人
こども自然体験塾

実施内容

- 親子でドラゴンカヌー&化石発掘体験
- 九頭竜ダム見学
- サマーキャンプ(こども自然体験塾)等

実施状況

- H25年度
旅行会社名:カッコウツアー
参加人員等:計3回 82人
- H26年度
旅行会社名:(株)JTN
参加人員等:最少催行人員に達しなかったため未実施

福井県 大野 日帰り

炭火焼きバーベキューランチ付き!
親子でドラゴンカヌー&化石発掘体験

日帰り旅行代金(おひとり) **5,980円** (税別)

無印出発日 **6,980円** (税別) | 印出発日 **7,280円** (税別)

行程:各地出発→大野(化石発掘体験)→前坂キャンプ場(バーベキューランチ)→九頭竜ダム(見学)→九頭竜湖(ドラゴンカヌー体験)→各地到着(18:30~18:50)

コース番号	発着地(出発時間)	出発日
340800-S	名古屋(8:00)	7月24・31 8月3・8・11・17 21・24
340816-S	一社(8:00)	7月27 8月4
340837-S	一宮(8:20)	7月28 8月10

※大人数を満員九頭竜湖でドラゴンカヌー体験
※当日の天気により化石発掘体験
※昼食は家族でワイワイ炭火焼きバーベキューランチ
※九頭竜ダムを見学しよう!
※ドラゴンカヌーは約20名乗りになります。
※採取した化石は一人2~3個持ち帰ることができます。

小学生対象 バスツアー 主催 NPO法人 こども自然体験塾

さあ! 夏休みは子ども達だけで **サマーキャンプ** に出かけよう!!

海へ! 山へ! 川へ!

お子様だけの参加でも **安心!安全! こども自然体験塾のサポート体制**

- 安心1 健康管理の徹底: 事前に「健康調査票」を送付し、ご学童ご自身の集合場所にて、職員スタッフが安全確認を行います。
- 安心2 プロの技術で大冒険をサポート: インストラクターは自然体験プログラム専門の指導者として安全な実施をサポートし、安全な大冒険をサポートします。
- 安心3 入水プログラムは、参加者全員「ライフジャケット」を着用: 自然体験活動のプログラムでは、海や川に入水できるプログラム体験時に安全確保の為、全員ライフジャケットを着用して実施します。
- 安心4 バスの行き帰りも安全管理の徹底: 大人数乗車は、30分以内の乗車を確保し、ドライバーは運転に専念し、乗客は乗車を安全に待機し、乗降は乗降係員が安全にサポートします。
- 安心5 宿泊ツアーでは夜も万全の体制: インストラクターは夜も、チームシークの夜更けも万全の体制で実施し見守ります。

■親子でドラゴンカヌー & 化石発掘体験 パンプ

■サマーキャンプパンプ(子供自然体験塾)

小学生対象 児童教育事業 主催 特定非営利活動法人 こども自然体験塾

2014年 夏休み 保存版 **さあ!子どもたちだけでサマーキャンプ**に出かけよう!!

夏休み自然体験教室 参加会員募集のご案内

特定非営利活動法人 こども自然体験塾
こども自然体験塾とは、日本の山村・漁村の豊かな自然環境を活用した自然体験教育事業を推進し、もって子ども達の健全育成及び豊かな自然環境の保全並びに、山村・漁村の地域振興に寄与することを目的としています。

兄弟姉妹 日帰り 500円
同時参加 日帰り 1,000円

海へ!山へ!川へ!日帰りや宿泊などいろいろなプログラムをご用意しました!!

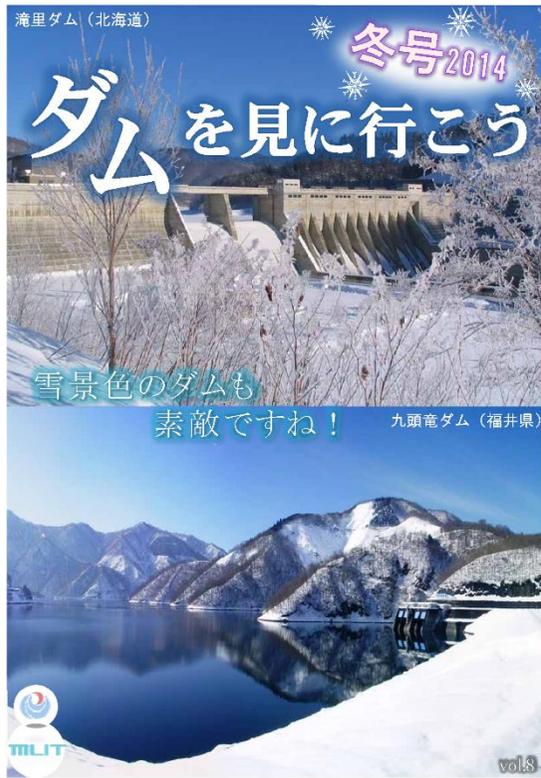
高尾山の清らかな川で夏を楽しもう!!
ちびっこリポートレッキング & 魚のつかみ取り体験 **7,980円**

映画のロケ地にもなるようなトロピカルビーチに行こう!!
エメラルドな田舎白浜で シュノーケリング&海あそび体験!! **7,980円**

海の人気者どぶれあそび!!
イルカアドベンチャー in日間賀島! 1泊2日 **19,980円**

ダムツーリズムの推進状況（国土交通省HP）

国土交通省では、民間ツアー会社と連携してダムツアーを実施している。ダムとその周辺地域の環境を活用し、地域と連携してダムの観光資源としての活用を図っている。また、ダムの工事現場も活用して完成前から観光資源としての効用を発現できるようダムのツーリズムを推進している。



■Vol.8 「ダムを見に行こう（冬号2014）」H26.12発行

ダムツアーの紹介 好評実施中					
建設年度	ダム名	建設時期	主催団体	参加費	その他ツアー内容
1974年	九頭竜ダム	1974年10月～1975年10月	福井県観光協会	2,000円	ダム見学、ダム博物館、ダム周辺の自然観察、ダム周辺の歴史を学ぶ

ダム周辺でのイベント紹介 好評実施中					
建設年度	ダム名	開催時期	主催団体	イベント内容	HPアドレス
1974年	九頭竜ダム	10月1日～10月31日	福井県観光協会	ダム周辺の自然観察、ダム周辺の歴史を学ぶ	http://www.kankou.or.jp/kyuuto



■Vol.7 「ダムを見に行こう（秋号2014）」H26.10発行



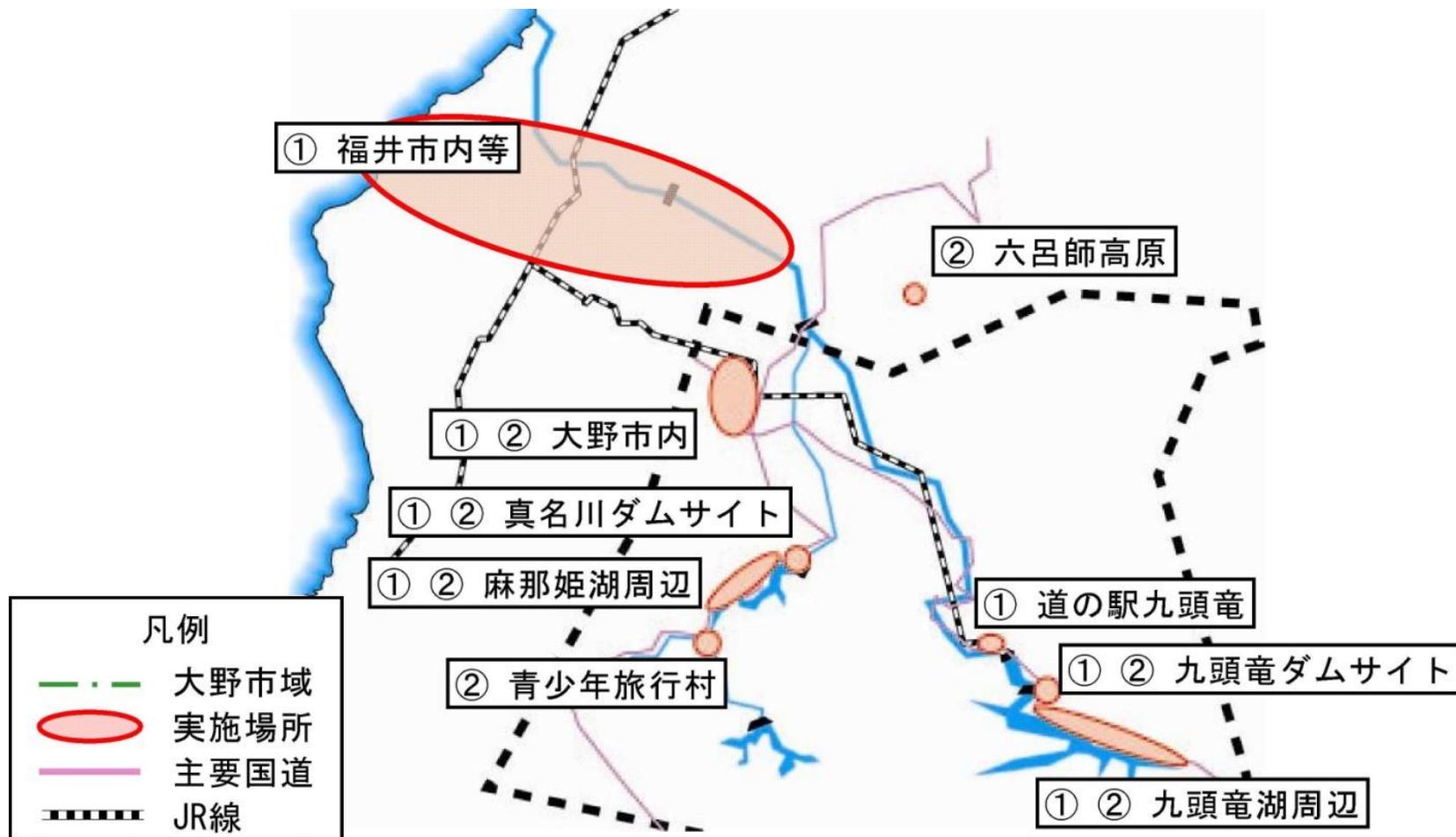
■Vol.6 「ダムを見に行こう（夏特集2014）」H26.7発行



開催場所(案)

- ①. もりみずアートフェスティバル
- ②. 子供の交流(仮称)夏休みもりみず留学

大野市内、真名川ダム・九頭竜ダム周辺、近傍の施設、下流の市町で開催する。



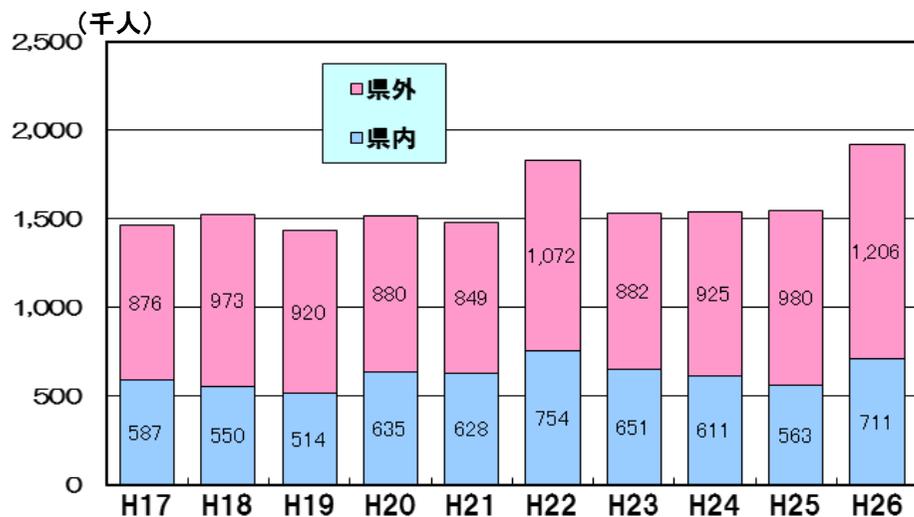
■もりみずアートフェスティバル、子供の交流(仮称)夏休みもりみず留学の開催場所(案)

平成27年度は、水源地域ビジョンに位置付けている各種取り組みの継続を図るとともに、構成委員間の連携の促進や、大野市が進める“越前おおのブランド戦略”によるイメージアップや中心市街地活性化プログラムによる地域間交流の促進、災害の記憶を風化させず『人命を守る』ための住民の防災意識の啓発・自助・共助について考えるなど、新たな活動の導入により、ビジョンの更なる推進を図っていく。

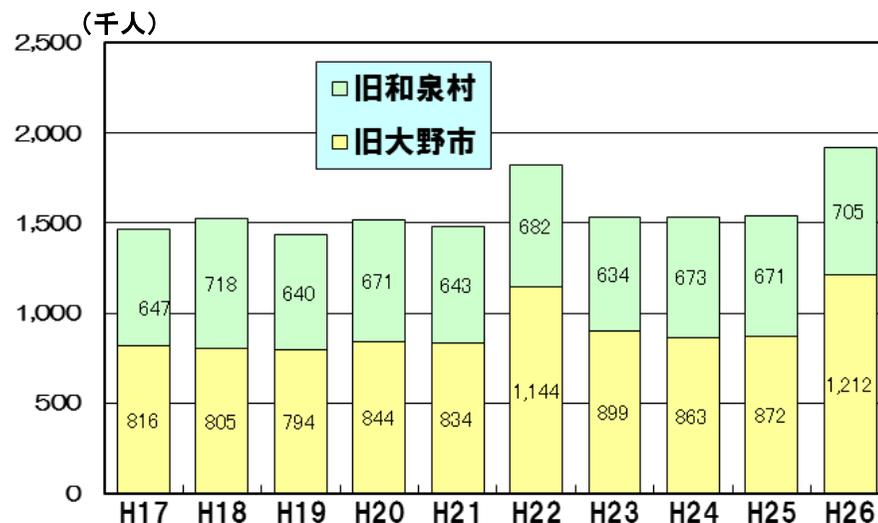
1. 森と湖に親しむ旬間行事
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり
3. もりみずカップ少年サッカー大会
4. 『水源地の森づくり』植樹会
5. 越前おおのエコフィールド
6. 越前おおの湧水文化再生計画
7. NPO法人九頭竜自然楽校
8. 真名川水辺の楽校ピオフレンズ
9. 真名川ダム弾力的運用管理
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み
11. 流木の有効活用
12. もりみずアートフェスティバル
13. ダム湖周辺の紅葉情報提供
14. ダムカードの配布とダムマニアとの連携
15. 真名川ダムのダム内部見学
16. 九頭竜ダム展示室
17. ノーム自然環境教育事務所
18. カヌーを使った水辺の安全教室
19. 化石発掘体験
20. パネル展
21. 日帰り里山留学
22. 子供の交流(仮称)夏休みもりみず留学
23. ダムツーリズム(夏休みダム見学ツアー)

【参考資料】大野市の観光動向

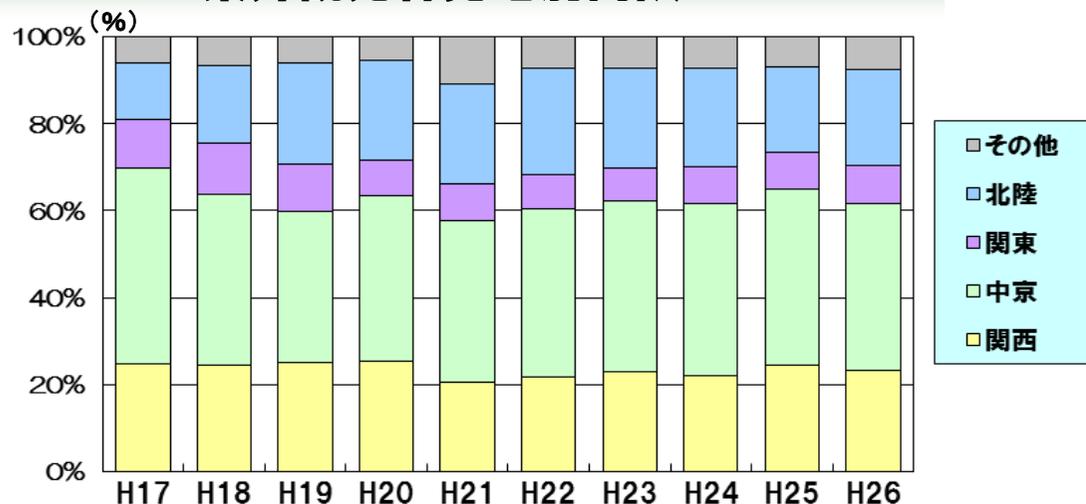
観光客数内訳（県内・県外）



観光客数内訳（旧大野市・旧和泉村）



県外観光客発地別内訳



■ 大野市における観光客数は、平成17年以降横ばいとなっていたが、平成22年は越前大野城築城430年祭の実施効果により、平成26年は結の故郷発祥祭の実施効果により、それぞれ増加している。平成26年度の観光客数は191万7千人となった。

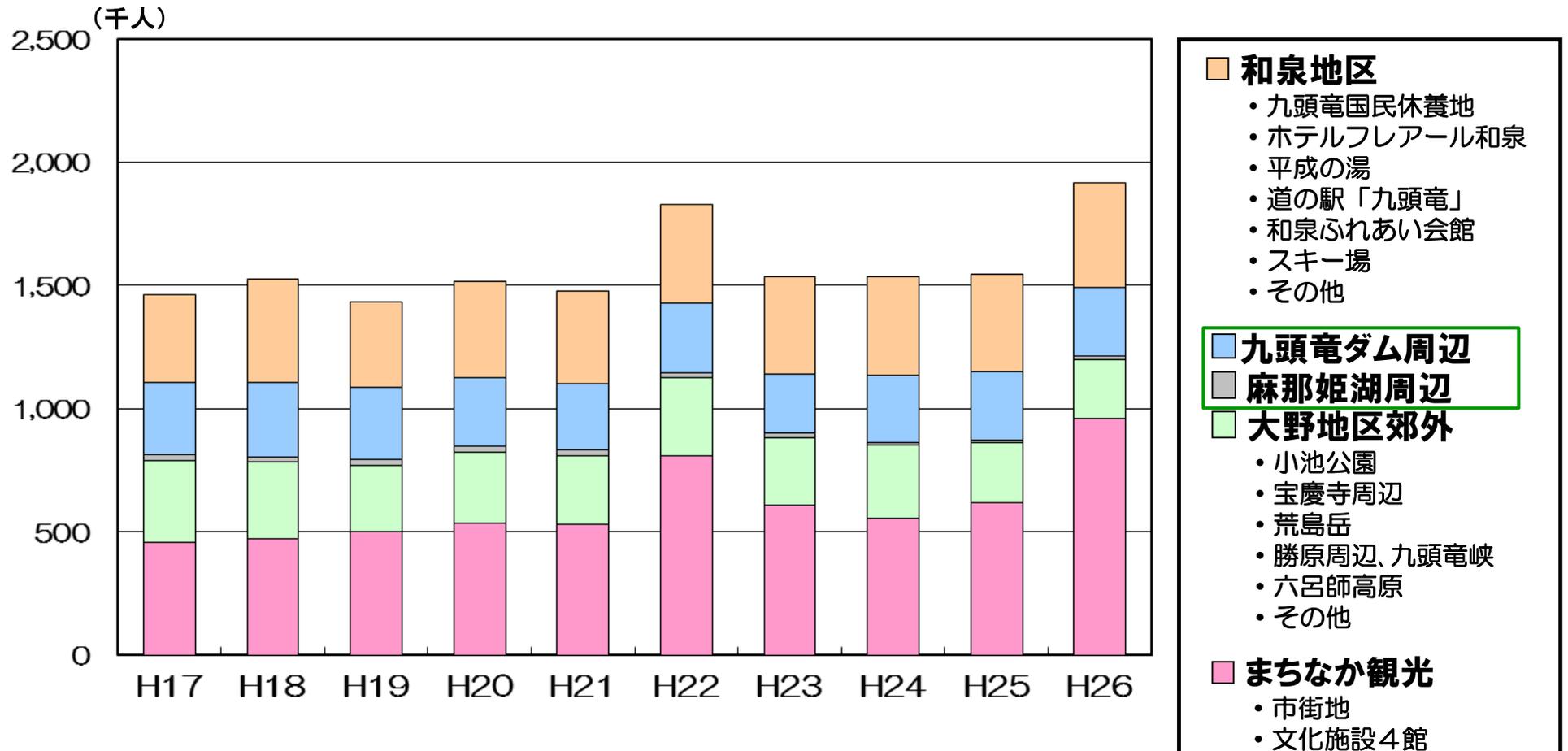
■ 全体の6割強が県外からの観光客であり、県外客のうち中京方面からが約4割、関西方面と北陸方面からがそれぞれ約2割となっている。

※データ出典：大野市商工観光振興課
 ※H26については暫定値

【参考資料】大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光地の観光客数

■ 大野市の主要観光地の観光客入込み数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は15%程度、「麻那姫湖周辺」の占める割合は1%程度である。



※データ出典：大野市商工観光振興課
 ※H26については暫定値